

SUGINAMI CITIZENS'

杉並区気候区民会議

CLIMATE ASSEMBLY

開催レポート

第6回：まとめ・振り返り

2024年8月3日（土）13:30～16:30



目次

1 | 実施概要・・・1
2 | 当日プログラム・・・1

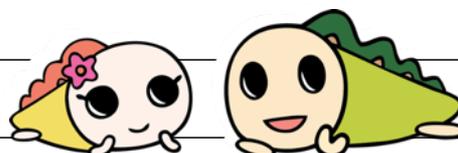
3 | 意見提案（案）の最終調整・最終確認の記録・・・2
4 | 振り返り・今後に向けた意見交換の記録・・・38

1 | 実施概要

- 日時** 2024年8月3日(土) 13:30~16:30 (3時間)
- 場所** 杉並区役所 本庁舎 第4会議室 (杉並区阿佐谷南 1-15-1、西棟6階)
- 内容** グループで検討してきた「取組(案)」の最終調整を行いました。全体で内容を共有・最終確認し、区長に「意見提案」を提出しました。
- 参加人数** 53名(12グループ)

2 | 当日のプログラム

プログラム	時間		概要
はじめに	13:30	5分	本日の目的と進め方
意見提案の最終確認	13:35	45分	グループで「取組(案)」の最終調整 第5回の議論やポスターセッションでの感想を踏まえて修正した「取組(案)」の内容を、最終調整していきます。
	14:20	45分	全体共有 グループの成果を全体に共有していただきます。
	15:05	15分	休憩/意見提案(案)への感想の記入
	15:20	5分	全体で最終確認
グループワーク	15:25	35分	杉並区気候区民会議の振り返りと今後に向けての意見交換 杉並区気候区民会議への参加や気づきを振り返り、気候変動対策を推進していく上で、杉並区気候区民会議の意見提案をどのように生かしていくべきか、区に期待することなどについて意見交換していただきます。
意見提案の提出	16:00	5分	区長へ意見提案の提出
	16:05	10分	区長よりコメント
	16:15	10分	集合写真
今後のご案内・自由交流	16:25	5分	今後のご案内
	16:30		終了



3 | 意見提案（案）の最終調整・最終確認の記録

進め方

第5回の議論やポスターセッションでの感想を踏まえて修正した「取組（案）」の内容を、グループごとに最終調整しました。最終的な内容を全体で共有し、各取組に対して感想や応援メッセージを書き出しました。



意見提案（案）を「この内容で区に提案して良いか」について参加者の拍手により最終確認し、区長に提出しました。



■「全体方針」と「めざす姿」

全体方針

2 全体方針とめざす姿

全体方針

移住区気候定民会議の全6回にわたる学習および熟議を通じて、気候変動の現状や影響について理解を深めることができ、その深刻さに危機感や不安を感じました。気候変動による影響を少しでも和らげ、移住区に暮らし続けられるよう、意見提案全体に共通する考え方を「全体方針」を作成しました。

私たち移住区気候定民会議は、ゼロカーボンシティ移住の実現に向けて本提案の取組内容を推進していく上で、以下の「全体方針」を大切にすることを、移住区をはじめ、推進に関わる全ての主体に呼びかけることを提案します。

方針1 個人の我慢ではなく、社会を大きく変える仕組みを考える

個人の行動を変えるためには社会を大きく変える仕組みや制度が必要であり、社会システムの大転換が必要です。私たちは、個人の努力や我慢だけに頼らない、社会全体で変わっていくための取組の推進を求めます。また、社会を大きく変えるためには、新たな技術を効果的に取り入れることも必要であり、小さくても移住発のイノベーションを生み出していくことも大切です。

方針2 さまざまな主体が連携し、チカラを出し合う

気候変動は全ての人に関わる問題であり、「区民」「事業者」「移住区(行政)」など、単体で達成できることに限りがあることから、様々な立場や分野の主体が連携しあうことが必要です。また、他の地域と協力し、それぞれの得意分野を生かすことで、「移住区」が一つの自治体としてできることを幅広く広げることが出来ます。

方針3 みどりや自然を大切にす

移住区の豊かなみどりや自然は、区民の暮らしに欠かせない存在です。「人」だけを中心に考えるのではなく、植物・動物・川・山などのみどりや自然を守り、共存していくことが重要です。

方針4 多様な世代が学び合い、将来世代に負担をかけない行動をとる

気候変動問題は、現代世代による行動が将来世代にもたらす影響が大きいことが特徴です。私たちは将来世代への負担を減らし、今できることを考え、行動する必要があります。「未来」のために「今」何をすべきかを決める際には、子どもや若者も当事者として参加できる機会を増やすことが欠かせません。

方針5 地域間の不公平を生まない

私たちは、気候変動に対する取組が他の地域で別の問題を起している現状を学びました。地球規模で気候変動問題に立ち向かうためにも、移住区での取組が地域を超えて悪影響を及ぼさないかなど、多様な角度から検討することが重要です。

2 移住区気候定民会議

ゼロカーボンシティ移住の実現に向けた提案 3

4

連携の他都市? 地方/自治体: 連携もあるのでは?

「この地域は気候変動の影響を受けやすい地域です。気候変動の影響を受けやすい地域は、気候変動の影響を受けやすい地域です。気候変動の影響を受けやすい地域は、気候変動の影響を受けやすい地域です。」

参加者からの意見

- ・ 「地域を越えて悪影響を及ぼさない」というのは若干ネガティブな印象があるので、「良い影響を、区域を越えていかに及ぼせるか」などの表現がよさそう

「2050年、気候変動対策を実施した杉並区がこうなったらいいな」 杉並区のめざす姿

2050年までに実現したい、気候変動対策を実施した杉並区の姿を出し合い、分野横断的なめざす姿と、テーマ別のめざす姿に整理しました。「意見提案」では、これらの「めざす姿」の実現に向けた取組を提案しています。

連携するのは
他都市？
地方/田舎との
連携もあるの
では？

環境都市として世界のお手本・
モデルになっているまち

キーワード #環境が杉並区のブランド #環境配慮の暮らしが実現できる #都市のモデル #他都市と連携 #日本一の環境区 #幅広い参加・周知



高い環境意識が受け継がれ、
行動力のある区民が育つまち

キーワード #社会を変える行動力のある区民 #高い環境意識 #次世代に受け継ぐ #全区民が知っている #前向きな議論を杉並の文化に



快適で豊かな脱炭素の
暮らしを実現できるまち

キーワード #継続できる取組 #気候変動対策がお得に #高店街活性・コミュニティ・健康にもプラス #自然体で無理なく #暮らしが豊か #脱炭素だからこそ全員が快適 #脱炭素以外のメリットも

エネルギー：
杉並区でエネルギーをつくり、
区内でエネルギーをまかなっているまち

キーワード #省エネと再エネと一緒に進める #杉並区内でつくる #区内でまかなう #今あるものを守りながら進める #交流・近隣自治体と連携



循環型社会：
ごみの排出量が最も少なく、
暮らしに関わる全てのものが杉並区内で
完結する循環システムのあるまち

キーワード #ごみ排出最少 #ゼロウェイスト #区内で完結 #循環システム #リサイクル率 No.1 #アップサイクルで新たに生み出す

みどり：
質の高い豊かなみどりを守り、
育んでいるまち

キーワード #他都市がうらやむ #質の高いみどり #豊かな自然 #四季を感じる #交流を育むみどり #愛着の持てるみどり #人と自然に隔たりがない #生き物も人もコンフォータブル #多様性



交通：
だれもが環境にやさしい手段で
移動したくなる、多様なモビリティが
共存できるまち

キーワード #歩きたくなる #自転車に乗りたくなる #楽しい #だれもが安心できる道しかない #モビリティと人が共存 #ストレスなく移動 #環境が整っている #みどりと掛け算

参加者からの意見

- ・ 連携するのは他都市なのか。地方や田舎との連携もあるのではないかと

■ テーマ別の「取組」

エネルギー

取組 1：再エネを近所の人たちとみんなで安心して導入できるようにする

*上記のタイトルは、第6回で話し合う前のものを記載しています（以下同様です）。

**1 グループ
エネルギー**

これは実現の
ためのAFDと
思いです!!

① 斬新でステキ
なアイデアだと
思います!!

グループからの感想

エネルギー

達成したい
ことは? 家庭での太陽光発電の普及率を10倍にする

取組 01 再エネを近所の人たちとみんなで
安心して導入できるようにする

取組の内容

各家庭や集合住宅（分譲・賃貸）で太陽光発電を導入する際の精神的なハードルを乗り越えるために、個人で導入を検討するだけでなく、エリア単位でまとめて情報交換しながら、導入検討を推進できる仕組みをつくる。

取組の意義は? / なぜ杉並区に必要なの?

- 杉並区には住宅が多く、町会等の地域のコミュニティがしっかりしているため、各家庭での太陽光発電の導入にあたって、地域で気軽に相談しながら検討できる環境が整備しやすい。
- 太陽光発電の導入に向けて、スケールメリットによる合理性、効率性、事業性を追求することも大切である。
- 近隣同士の対話によって、太陽光パネル設置による近隣とのトラブルを回避する。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p>エリア説明会の共同開催</p> <p>杉並区 町会</p> <p>区民 事業者</p> <p>町会や商店街と一緒に導入検討を進める</p> <p>専門家</p> <p>エリア説明会に出席し、商品のPR</p> <p>エリア説明会に同席し、第三者目線でアドバイス</p>	<p>step 1 > step 2 > step 3</p> <p>町会や商店街など、モデルエリアを選定する</p> <p>町会や商店街など、モデルエリアを深掘りし、導入検討を進める</p> <p>エリア説明会を実施し、導入検討を進める</p> <p>モデルエリアを全区的に展開する</p> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> 区のお墨付きの安心できる業者の登録制度や紹介制度を設け、相談窓口も合わせて設置する。 太陽光発電を導入したときのシミュレーターをつくり、住宅の耐用年数に合わせて導入費用や回収期間が気軽にシミュレーションできる。 簡易的に導入できるペロブスカイトの開発を手伝うために、モデル地区での社会実験や、クラウドファンディングを実施する。

10 杉並区気候区民会議

他のグループからの感想・応援メッセージ

- これは実現のための肝だと思う
- 斬新で素敵なアイデアだと思う

取組2：省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

1 グループ
エネルギー

他のグループからの感想

パッケージがあることで考えるきっかけになるのでは？

エネルギー

達成したいことは？ 新築・改修ともに戸建住宅や集合住宅の省エネ・再エネにつながる仕組みを充実させる

取組 02 省エネ・再エネ住宅の推進パッケージをつくる

取組の内容

エネルギー効率の良い住宅を増やすには、「正確な情報が得られること」、「専門家による診断やアドバイスがもらえること」、「金銭的な補助があること」が必要であるが、個別に実施するだけでは実現しないため、一連のパッケージとして展開する。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要な？

- ・ 温室効果ガス排出 52.8% を家庭が占めるため、住宅の多い杉並区が率先して取り組むことで他都市のお手本になる。
- ・ 一部の情報感度の高い人だけが制度を活用するのではなく、誰でも気軽にワンストップで制度を活用できる仕組みが必要である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

既存の制度を整理してワンストップでできるパッケージをつくる

区民 事業者

予算に合わせて選択しながら制度を利用する 新築・リフォームそれぞれに、制度の案内の機会をつくる

実現に向けたステップ

step 1 > step 2 > step 3

既存の制度を整理し、パッケージ化する 制度の理解を深め、利用率をあげる 不動産評価もプラス査定になるように働きかける

議論したアイデア

- ・ 既存の集合住宅には管理組合等の大規模修繕の項目として、省エネ・再エネに関することを義務化し、補助金の導入やアドバイザーの派遣をする。
- ・ 新築の場合は住宅展示場での案内、リフォームの場合は見学会等を実施してメリットを伝える。
- ・ 社会貢献のブランド力により、ローンの金利が優遇されるなど、不動産評価にもプラスになると良い。
- ・ エネルギー×防災・防災で様々な側面から住環境を改善できるというメリットを伝える。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 11

他のグループからの感想・応援メッセージ

- パッケージがあることで考えるきっかけになるので良い

エネルギー

取組3：区民や事業者が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける

2グループ エネルギー

災害時に耐える力と身につけるノウハウを、
「杉並消灯日」が良い！

3 消灯日は、なるほどと聞かされた。

消灯日 いいですね！
街灯は各家に1つでもソーラーライトがあるといいかな

杉並消灯日素敵だと思いました。
満月の日や流星群が見られる日にやるといいと思います。

03 消灯日に素晴らしいネーミングがあるといいですね

「消灯日」世代をつなぐよい活動

消灯日
これは消してもいいかな？と考えるきっかけになるよ！

「杉並消灯日」良いと思います！

エネルギー

達成したいことは？ 区民・事業者・杉並区が協力・連携し、地域全体で unnecessary な電力消費を抑える

取組 03 区民や事業者が協力・連携したくなる「杉並消灯日」を設ける

取組の内容

杉並区が主導しながら地域全体の消灯日を設け、消灯対象エリアや時間帯を設けるなど、それぞれのスタイルで参加しやすいようにする。事業者等には定時退社・営業時間短縮の協力を依頼し、区民には暗がりを楽しむ企画を提案する。また、この取組をより推進させるため、総合防災訓練や各地域の防災訓練と消灯日を掛け合わせることで、地域の防災力を高めながら省エネできる。

取組の意義は？なぜ杉並区に必要な？

- ・ 都内で実施するからこそ、賑わいと暗がりの対比で新しい杉並の名物になりうるし、大企業や商業ビルの少ない住宅地だからこそ実現できる取組である。
- ・ 気候変動対策と防災を掛け合わせることで、より地域に必要な取組にする。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
協力者へのヒアリング / データを取りまとめ、情報提供をする	step 1 お試し実施として、短い時間から実施をする
移住区	step 2 課題の改善と実績を発信しつつ、取組を広げる
区民	step 3 取組の定着や防災訓練との連携企画を実現する
事業者	

議論したアイデア

- ・ 暗がりを楽しむ企画として、ホテル鑑賞や星空観測、デジタルデトックス DAYなどを提案する。
- ・ 消灯日にも灯りがあり、逃げ込める防災協力店を設ける。
- ・ 地域全体の消灯を実施しているときと実施していないときを数値化し、メリット・デメリットの整理をする。
- ・ 「省エネ」×「防災」のモデルとなる取組にする。

（企画）（防災）
電気がなくても過ごせる杉並区民
知識が身につくと停電になっても困らない

対策（3行）

- ・ 時間にはおれ地域に放送が流れるようにする（音で知らせる）
- ・ 犬の散歩を夜に可能にする（パトロール）
- ・ 暗くても安全に歩けるようにする（街灯は消さない）

グループでの議論

- ・ 電気がなくても過ごせる杉並区民
- ・ 知識が身につくと停電になっても困らない

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 災害に耐えられる力を身につけるといっても、「杉並消灯日」は良い
- 消灯日、いいですね。街灯は各家に1つでもソーラーライトがあるといい
- 消灯日に素敵なネーミングがあるといい
- 「これは消してもいいかな」と考えるきっかけになって良い
- 「杉並消灯日」良いと思います
- 消灯日はなるほど、と思う
- 杉並消灯日、素敵だと思いました。満月の日や流星群が見られる日にやるといいなと思いました
- 消灯日は世代をつなぐ良い活動

7

エネルギー

取組 4：床発電や太陽光パネルを公共施設等に設置し、省エネ・再エネに関する啓発を充実させる

2 グループ エネルギー

他のグループからの感想

エネルギー

達成したいことは？ 日常生活の中で省エネ・再エネの取組を見える化し、地域外から調達するエネルギーを減らす

取組 床発電や太陽光パネルを公共施設等に設置し、省エネ・再エネに関する啓発を充実させる

取組の内容

日常的に利用する駅や公共施設などに床発電・太陽光パネルを導入し、発電量やその効果の見える化をする。関心のない区民も無意識のうちに省エネ・再エネの取組を目にすることができ、関心のある区民はより理解を深めることができる。また、多くの杉並区民が手にする「ごみの分別冊子」などに気候変動対策や防災等の取組を紹介することで、啓発を推進させる。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- 区内でエネルギーをつくり、化石由来のエネルギーから転換することができるようになる。
- 省エネ・再エネを日常生活の中で見える化し、1人でも多くの区民に啓発する。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p>第1走者になる、協力事業者に補助金を出す仕組みなど</p> <p>杉並区 区民 事業者 その他</p> <p>アイデアの事業化</p> <p>大学や事業者が新しい発電について研究する</p>	<p>step 1 > step 2 > step 3</p> <p>まずは区施設に設置し、啓発する</p> <p>ごみの分別冊子などに気候変動対策や防災等の情報を掲載</p> <p>事業者の参加を増やしていく</p> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> 床発電や太陽光パネルの発電量や効果、目標値を公共施設や駅、観光地などに提示板パネルで見える化する。 アプリをつくり、区全体でどのくらい省エネできたか区民が確認できるようにする。その日の目標を達成したらポイントがもらえるようにすると参加する動機になる。 日常の中に様々な発電を取り入れる。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 13

エネルギー

取組5：区民が参加できるような事業体「杉並電力」により、自分たちでコツコツと積み上げて発電し、再エネで地産地消するまちなにする

3グループ エネルギー

杉並区で再エネエネルギーを実現したい！

杉並電力
みんなの電力
宮古島未来エネルギー

杉並電力から区民の意識付けの啓蒙活動の育ちを影響するのよいと感じ

地産地消
杉並電力と再エネを大切にしたいと感じ

自転車発電
コンテスト

杉並電力
みんなの電力
宮古島未来エネルギー

エネルギー

達成したいことは？ 再エネの地産地消の割合を大幅に上げる

05 取組 区民が参加できるような事業体「杉並電力」により、自分たちでコツコツと積み上げて発電し、再エネで地産地消するまちなにする

取組の内容

ごみなどの廃棄物も有効に活かす新しい技術の導入や、健康づくりと組み合わせた自転車サイクル発電をワークスペースに設置するなど、まちなかのあらゆる資源を生かして再エネによる発電を広げる。また、つくったエネルギーのプロセスを見える化して取組のPRを行い、再エネ推進に区民が参加できるような事業体「杉並電力」をつくらせてさまざまな事業を展開する。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- 住宅都市である杉並区は多くの人口を抱え、エネルギーも食料も消費する一方であるが、そのことが他都市の環境破壊につながらないよう努力はすべきである。
- 遠くのまちで発電された電力だけに頼ると、災害時には供給されない恐れがある。
- 昼間に電力をたくさん使うような家庭は、電気料金の削減や安定化につながるというメリットもある。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
再生エネルギー課をつくり、杉並電力（事業体）事業会社の設立を担う	step 1 区に再生エネルギー課をつくり、「杉並電力」を立ち上げて、再エネ状況の見える化など情報発信する
杉並区 区民 事業者	>step 2 イベントや事業を試しながら健康づくりとエネルギーを創出する
家庭に太陽光パネルをつける、自転車発電をこく、ごみを再資源化する協力をし、杉並電力に出資する	>step 3 事業推進部隊として「杉並電力」を本格的に立ち上げ、事業を展開する

議論したアイデア

- 民間事業者の社内にジムをつくり、「電力室」と見立てて自転車をこぐことで発電するなど、楽しみながら健康づくりとエネルギーを創出する。
- 河川での小水力、路上に設置した小型風力で発電し、家庭からのごみを今以上に分別してバイオマス発電を増やし、プールや区内公共施設、家庭でも使う。
- 杉並区役所の再生エネルギー課で、実施したことがすぐわかるように見える化する。
- 区全体の再エネ発電量を取りまとめ、拡大推進の取り組みを推進する「杉並電力」を設立（開設）する。

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 杉並区でつくったエネルギーを杉並区で使いたい、このアイデアを実現してほしい
- 自転車発電コンテスト
- 杉並電力という発想は良い。どう実現するか、考えてみると良い
- 杉並電力について、区民の方の意識付けにもつながり、小さい頃からの育ちにも影響するので良いと感じた
- つくったエネルギーを大切にしようという意識がうまれて良いと思う
- みんな電力や宮古島未来エネルギーが参考になりそう

取組 6：交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる

3 グループ
エネルギー

他のグループからの感想

エネルギー

達成したいことは？ 区内でまかなえない電力は、交流関係のある地域・都市から調達する

取組
06 交流自治体や地方と再エネを起点にした相互的な協力体制をつくる

取組の内容

再エネを起点にした協力体制を構築し、交流自治体産電力（再エネ電力）を主軸に再エネ切り替えを進める。交流自治体とは電力の連携に加え、区立小学校での給食食材の調達、自然体験教育、健康増進など教育・文化・人的な交流を持つ。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要な？

- 再エネ電力の供給先を安定的に確保する必要があるが、区内の再エネ発電量は限られているため、他都市から調達する必要がある。
- 区内での自家発電設備、蓄電には限界がある。
- 自然の少ない都市住民にとっても自然とのふれあい、自然教育機会の創出、ひいては区民の健康増進などさまざまな面で豊かさをもたらす。
- 世田谷区、練馬区などに挟まれた杉並区は住宅都市として「選ばれる」ために、魅力や活力を生み出さなければならないので、このような特徴ある取組から区民の教育、緑、豊かで美味しい食生活など生活の質の充実につながる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

主導的に動く
杉並区
区民 事業者

参加や購買、市民レベルでの交流
小売チェーン、さまざまな流通において交流都市産物の取引協力

実現に向けたステップ

step 1 > step 2 > step 3

交流都市の募集・調査する（発電できるところ等のポテンシャル）
トライアルツアーやイベントなど事業化を計画
協定締結
事業実施

議論したアイデア

- 食材、木材などを区内スーパー、飲食店、小売業に優先仕入れし、区民一人ひとりが購入して協力するとともに、伝統行事や風土などの相互理解を深める。
- 災害時に備えて自己託送電力を一定量確保する必要がある。区外で土地や海洋資源を提供してもらい区の発電設備を設置できることが理想。都市住民が電力供給地の歴史や文化を尊重して、様々な交流を深めることで、感謝と一体感を持った関係を築く。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 15

エネルギー

取組 7：家庭でお得に省エネ・再エネにチャレンジできる情報ポータルを整備する

1 グループ エネルギー

他のグループからの感想

エネルギー

達成したいことは？ **家庭でのエネルギーに関するお得な情報を区民全員が知っている状態にする**

取組
07 **家庭でお得に省エネ・再エネに
チャレンジできる情報ポータルを整備する**

取組の内容

ウェブサイトや SNS 等の区が運営している既存のメディアを活用しながら、各家庭やエリアにおけるエネルギーに関する情報を集約するとともに、各家庭でお得に、楽しく、自主的に省エネ・再エネアクションを起こしやすくなる情報を発信する。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

- ・ 温室効果ガス排出量の 52.8% を家庭が占めるため、住宅の多い杉並区が率先して取り組むことで他都市のお手本になる。
- ・ 家庭における省エネ・再エネに関する取組は、何を選び、実践すれば良いかわからないため、正確な情報が必要である。
- ・ 行政が公益性のあるデータに基づく情報を発信することで、安心して家庭で取り組むことができる。
- ・ 実際にアクションを起こすためには、モチベーションを高める工夫が必要である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ		
自前のメディアで情報ポータルを整え、正確な情報を発信	step 1 ウェブサイトやアプリ等の情報ポータルを構築する	step 2 > step 1 構築したポータルを区報や区の SNS 等で区民に広める	step 3 > step 2 ポータル内で情報交換してアクションを広げる

議論したアイデア

- ・ 家庭やエリアのエネルギー情報が集約され、使用量の把握やシミュレーション、お得情報の確認などができる。
- ・ インセンティブやゲームミッションなど、家族で楽しく省エネ・再エネ導入のチャレンジができる。
- ・ AI を活用して、省エネ・再エネに関するアドバイスや質問に答えてくれるようなシステムをつくる。
- ・ アニメ・ゲーム×気候変動は世界でも関心の高い分野なので、世界にも発信する。
- ・ SNS、プラットフォーム内で共有されたアイデアの中から実際にマネしたくなるようなアクションが情報交換できる仕組みをつくる。

正しい情報を得ながら自分たちでアクションを広げる

杉並区の事業者が、見やすく楽しさを感じるデザインやコンテンツ制作を行う

16 杉並区気候区民会議

エネルギー

取組 8：区民・事業者・杉並区で気候変動対策の取組を考える場を設け、積極的に情報を発信する

2 グループ エネルギー

他のグループからの感想

エネルギー

達成したいことは？ 地域全体で楽しく省エネ・再エネに取り組んでいることを発信し、“エコ杉並”をブランディングする

取組 03 区民・事業者・杉並区で気候変動対策の取組を考える場を設け、積極的に情報を発信する

取組の内容

杉並区主催で地域対抗の自家発電運動会などの催しや、翌年の気候変動対策の取組をみんなで考える場として区民会議を継続させることで、気候変動対策に関する認知度を高め、学びのある機会をつくる。また、気候変動対策に取り組む他都市と相互に情報交換・協議する場として、事例見学を含む合同会議を開催する。それらを杉並区内外に向けて積極的に情報発信することで、“エコ杉並”のブランドを築く。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- 楽しく気候変動への取組ができ、若い世代が暮らしたいまちにすることで人口減少を防ぐ。
- 民間主催だと営利目的のように感じて参加しにくいいため、杉並区が主体になることで、取組を多くの人に知ってもらうことができる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
関係のサポート、情報発信、他地域との連携 	step 1 気候区民会議を継続する step 2 YouTube等 で成果も課題も発信する step 3 他都市と一緒に合同会議を開催し情報交換等を行う 議論したアイデア <ul style="list-style-type: none"> エコな取組の認知度を上げたり、発電する体験などができたりする、区民が参加しやすくなる楽しい催しを行う。 事業者や個人、杉並区の取組を報告、紹介をする。 杉並区公式のYouTubeチャンネルから、取組を紹介する。 合同会議では区民も参加・出張できるようにし、他地域の事例やエリア特性を知る機会を創出する。

楽しく省エネ

||| 楽しさ!!
くつろいで省エネの
コラボがある!!

信じるの
コンセプトが
面白い!!

面白い!!
面白い!!
面白い!!

グッズは杉並区
はてさて!!

企業コラボする

↓
オミセル
エコグッズも展開
・グッズにも
をつけるべき

グループでの議論

- ・ 楽しく省エネできると良い

グッズの制作について

- ・ 杉並区感があまりなくて、おしゃれなものが良い
- ・ デザインコンテストなどを実施すればおしゃれなデザインが集まり、イベントにもできるのではないかと
- ・ 杉並以外にも店舗がある企業でもコラボできる事例があるので、そういった企業とコラボできると良い。既存のコラボ事例を参考にする（例：靴下屋となみすけのコラボ）

エネルギー

取組 9：化石燃料由来の電力から再エネ由来の電力に切り替えるための情報発信とサービスを提供する

**3 グループ
エネルギー**

9 (1に限らず)
本取組以外にもアプリの視察多く、アプリの機能の集約・他サービス(ブラウザ等)の代替が必要かもしれません

杉並区アプリを開発すると
区内の電力を100%再エネでまかなえるロジックが不明

グループからの感想

エネルギー

達成したいことは？ 杉並区内の電力を100%、120%再エネでまかなえるようにする

取組 化石燃料由来の電力から再エネ由来の電力に切り替えるための情報発信とサービスを提供する

取組の内容
再エネへの切り替えを後押しするアプリ「杉並区アプリ」を開発。区役所内のウォーターサーバーの使用量、区内の再エネ率、区内での再エネ発電量などのほか、区の再エネ促進施策をまとめて発信する。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- ・ 区の再エネ導入の助成などについて、まとめてわかるサイトやスマートフォンなどで簡単に情報にアクセスするサービスがない。そのため、関心があっても導入できない人が多い。
- ・ インセンティブとともに、生活情報や区のサービスとも連動したサイトやアプリをつくって関連情報を見られるようなサービスにすれば、導入する人も増える。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ	
杉並区アプリをつくる、再エネ導入のインセンティブを整備する	step 1 「杉並区アプリ」を開発する	> step 2 再エネ導入のインセンティブ、情報・サービスを充実させる
アプリをダウンロードして、制度を利用して再エネに切り替える	> step 3 インセンティブの利用促進を働きかける	

議論したアイデア

- ・ 「再エネに切り替えない未来がどうなるか」を数値化など可視化して、広く知らせる。個人も会社も例外なく再エネに切り替えて使おう！と呼びかける。
- ・ 区長がまとめて切り替えるとお得になる料金体系などの仕組み、インセンティブをつくる。
- ・ 杉並区アプリで再エネ促進関連情報サービスを発信する。アプリはLINE、Facebook、Xなどと連携し、周知する。会社ぐるみで導入、飲食店などダウンロードキャンペーンを打つ。
- ・ フードロス、フードレスキュー、再エネと省エネ関係のお得な区の制度を掲載し、区民の生活に必要な確定申告、選挙投票、安否情報など区役所関係のサービス機能を持たせる。

18 杉並区気候区民会議

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 本取組以外にもアプリの提案が多く、アプリの機能の集約や他サービス（ブラウザでも）の代替が必要かもしれません
- 杉並区アプリを開発すると区内の電力を100%再エネでまかなえるロジックが不明

循環型社会

取組 11：杉並循環ラボをつくる

4 グループ 循環型社会

地に足ついた
取組を生んで
いけそうで
すばらしい!

他のグループからの感想

循環型社会
達成したいことは？ 楽しく学び、体験する機会をたくさん創出して、ごみに関する意識の改革につなげる

取組
杉並循環ラボをつくる

取組の内容
事業者が生活者のニーズに応じたサービスや商品を区民と共に開発・展開する、循環型社会をテーマにしたリビングラボをつくる。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

- 杉並区は住宅地が多く、住んでいる人の意見を集めることで、効果的な取組を行うことができる。
- 意見やデータを提供する形で関わる区民を増やすことができ、学びと体験の機会を通じて、区民一人ひとりのごみに関する意識を変えることができる。
- 区民の意見やデータをもとに、事業者が循環型ビジネスのアイデアを実現していくことができる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
データ収集と取りまとめをする、場所の提供と助成金を検討する	step 1 人材を集める (事業者、研究者、演劇関係者など協力者)
杉並区	step 2 循環ラボの運営体制を検討する
困りごとや意見がある区民が提供する	step 3 パーチャル空間や移動式のラボで試行する
区民	議論したアイデア
事業者	事業者や研究者が興味を持つような、生活者の意見やデータを集める。
その他	生活者目線の意見から事業者や研究者が次世代のビジネスアイデアを生み出し、さらに杉並区で実行していくことで、区民の関心が集まる。
研究者や区内劇場関係者、学校などが連携して、講座やワークショップを開催する	さらに多くの区民が循環型ビジネスに興味を持つように、学びと体験の機会をつくる。

子どもも大人も、タタタ

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 21

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 地に足ついた取組を生んでいけそうで素敵です

取組 12：杉並式ごみ可視化システムをつくる

4 グループ
循環型社会

他のグループからの感想

- ④ごみ可視化アプリ Nice アイデアだと思いました
- カロリー可視化とこのメリットが伝わり、この取組に参加したいと思いました
- ⑤ごみの排出の可視化は Good!

循環型社会

達成したいことは？ 世界一ごみの排出量が少ないまちを実現する

取組 12 杉並式ごみ可視化システムをつくる

取組の内容

自分だけでなくごみを出しているかを可視化するアプリをつくり、各家庭のごみ削減につなげる。

区内のどの場所にもどんな種類のごみがどれだけあるか、データをマップ上で可視化できるシステムを運用し、ごみ収集の効率化とともに、事業者を含めて情報を共有することで、ごみを廃棄物ではなく資源として活用するしくみをつくる。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- 区民一人ひとりが出すごみを見える化し減らす工夫をすることで、区全体のごみの削減に繋がる。
- 区内のごみについて、どの場所にもどれくらいが存在して排出されているかが把握されていないことから、データにより可視化することで、資源としての活用が期待できる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p>他の取組と連動できるようなアプリと管理システムを検討する</p> <p>杉並区</p> <p>区民 事業者 専門家</p> <p>アプリを活用してごみを削減する</p> <p>可視化されたごみを資源として活用する</p> <p>アプリ開発、ごみ管理システム開発</p>	<p>step 1 > step 2 > step 3</p> <p>区民や事業者が活 用しやすいアプリとシステムを検討する</p> <p>アプリとシステムの活用方法を 実証実験をする</p> <p>アプリの活用方法を 広く周知する</p> <p>システムを検討する</p>

議論したアイデア

- 家計簿アプリのようなごみの排出量を記録できるアプリをつくって、スキャン機能でごみの種類や量を簡単に登録できるようにする。
- 「ごみ管理活用システム」では、捨てたごみだけでなく捨てたいごみもマップ上に表示し、別の個人や事業者が資源として活用できるようにする（その人にとってはごみ一別の人や事業者にとっては資源）。
- アプリ利用者には、ごみを減らす tips（ヒントやアドバイス）を提供し、ポイント制も検討する。

22 杉並区気候区民会議

⑫、お小遣いやカロリー計算などのようにごみを可視化することは面白いと思った。

他のグループからの感想・応援メッセージ

- ごみ可視化アプリ、良いアイデアだと思いました
- 可視化することでのメリットが伝わり、この取組に参加したいと思いました
- ごみの排出の可視化が良い
- お小遣いや帳やカロリー計算などのごみを可視化することは面白いと思った

循環型社会

取組 13：一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点を創出し、区民へ普及させる仕組みをつくる

5 グループ 循環型社会

他のグループからの感想

循環型社会

達成したいことは？ 暮らしの道具（家具・家電・洋服・冠婚葬祭・季節ものなど）を繰り返し使ったり、シェアすることで100%使いきり、ごみをゼロにする

13 取組 一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点を創出し、区民へ普及させる仕組みをつくる

取組の内容
区民、区内の事業者、アーティスト、学生、などとコラボレーションし、一度使ったものをシェア・リペア・アップサイクルできる拠点「RE プレス」をつくる。また、区民同士でモノを交換する日「0円均一 DAY」や区主催のフリーマーケットを設けるなど、一度使ったモノをシェアする仕組みをつくる。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- ・ 杉並区にはアーティストがたくさんいるので、まずは区内のアーティストとコラボレーションし、アートに興味や関心がある区民や他の地域の方を巻き込みながら取り組むことができる。
- ・ 区民同士で一度使ったものをシェアする取組「0円均一」はすでに一部地域で行っている取組なので、すぐに取り組むことができる。
- ・ 使わなくなったものを区民同士でシェアすることで、近隣で顔の見える関係性や地域コミュニティ形成のきっかけになる。
- ・ 新しいイベントを開催せずとも既存の杉並区のイベントが活用できる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
町会・自治会・民間事業者と連携して取組を支援する	step 1 不定期開催で取り組んでみる
移住区 すでに修理を生業としている事業者、区内のアーティスト	step 2 区内で取組を広め、仲間を集める
区民 暮らしの道具を持ち寄る、アートや修理に興味関心のある人との連携	step 3 持続可能な体制、組織づくりと拠点創出を検討する

議論したアイデア

- ・ アーティスト、学生、事業者などとコラボレーションしてアップサイクル製品をつくる。アートに興味関心のある世代への育成につなげる。
- ・ 拠点において取組 14 で使用できるリユース容器も制作する。
- ・ 広報紙や新聞広告を活用し、世代別に普及キャンペーンを実施する。
- ・ 月に2回「0円均一 DAY」を設定し、家の軒先に不用品を出して、モノが交換・循環できるようにする。
- ・ フリーマーケットの出展者は区民限定にする。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 23

Handwritten notes:
「0円均一」小学校全体でやっている ↓ ゆうゆう館にも広がっている ↓ 日々置いてある箇所もある
「0円均一」は小学校全体でやっていて、ゆうゆう館にも広がっている
日々置いてある箇所もある
既存のコミュニティにも取組を広げようという方針
「0円均一」は小学校全体でやっていて、ゆうゆう館にも広がっている
日々置いてある箇所もある
「0円均一」は小学校全体でやっていて、ゆうゆう館にも広がっている
日々置いてある箇所もある

グループでの議論

- ・ 「0円均一」は小学校全体でやっていて、ゆうゆう館にも広がっている
- ・ 日々置いてある箇所もある

他のグループからの感想・応援メッセージ

- いろいろな方が参加できて、楽しいアイデアだと思いました
- 「ゼロ均」は良いアイデアなので、どう具体化するのか

循環型社会

取組 14：区民が日常的に自分が使っているお気に入りの容器（マイリユース容器）を使うことができる環境を整備する

5グループ 循環型社会

リユースストリート
名前が Good!
ぜひ利用したい

商品の売り手の
意識改革も
大事ですね。

⑤マイリユース
Boxももっと
普及させたい
と思いました!

の感想

循環型社会

達成したいことは？ リユース容器の利用を促進し、区民が日常的にリユース容器を利用できる環境を整え、使い捨て容器のゴミをゼロにする

取組 14 区民が日常的に自分が使っているお気に入りの容器（マイリユース容器）を使うことができる環境を整備する

取組の内容
使い捨て容器を使用する飲食店や量り売り店舗、ウォーターサーバーなど区民が自分のお気に入りの容器（マイリユース容器）を使用できる環境を整備する。実験的に商店街などで区民が日常的にマイリユース容器を使うことができる場所を徐々に増やしていき、使い捨て容器を使用しない「杉並区リユースストリート」を実現する。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- 空き店舗の多い商店街の地域課題を解決するきっかけになる。
- 杉並区民全員が使い捨ての容器を使わなくなるとごみ削減へのインパクトが大きい。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
衛生上の専門的な指摘や相談を行う	step 1 人が集まる場所にウォーターサーバーを設置する
衛生上の専門的な指摘や相談を行う	step 2 参加するお店を増やす
衛生上の専門的な指摘や相談を行う	step 3 賛同した事業者や区民が増え、ストリートや集積地ができる

議論したアイデア

- 杉並区内で活性化を図りたい商店街と協働で取り組み、商店街活性化の一助になるようにする。
- リユースボトルの利用促進のため、ウォーターサーバーを人がよく集まる場所に設置する。
- 杉並区内の飲食店などリユース容器を使ってもらえるところには店舗内利用を働きかける。
- 将来的には量り売りで購入できる商品を大企業ともコラボレーションして、ラインナップを増やし、杉並区内でしか量り売りで購入できないオリジナルの商品をつくり、他地域にもPRする。

24 杉並区気候区民会議

他のグループからの感想・応援メッセージ

- リユースストリートの名前が良い。ぜひ利用したい
- 商品の売り手の意識改革も大事ですね
- マイリユース BOX がもっと普及されればいいなと思いました

循環型社会

取組 15：杉並区内の生ごみを資源化し、杉並モデルの循環システムをつくる

6グループ 循環型社会

エゾクリの専門家が入った堆肥化ぜひ実現してほしいです

生ごみの資源化 Good!

借財時 いてもいいから早くしてぜひ実現してほしい

借財の追加

生ごみを回収すること、コスト、環境負荷を増やさない方法を検討する

循環型社会

達成したいことは？ 可燃ごみを削減し、資源の循環を実現するため、生ごみを「ごみ」ではなく「資源」として捉える

取組 15 杉並区内の生ごみを資源化し、杉並モデルの循環システムをつくる

取組の内容

家庭や飲食店から排出される生ごみを回収し、環境負荷の少ない方法で資源化する。堆肥や土に生まれ変わった資源は、区内の公園の植栽や街路樹などの公共空間や区民農園などの緑化推進に活用する。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- 杉並区は可燃ごみの3割が生ごみ・食品由来であり、生ごみを資源化することで可燃ごみを削減することができ、脱炭素への効果大きい。
- 区は「家庭用生ごみ処理機」の導入支援を行っているが、追加のエネルギー消費を必要とすることや可燃ごみとして捨てる家庭が多いことが課題である。生ごみを「資源」として捉え、本質的に脱炭素や資源循環を実現していく必要がある。
- 生ごみの資源化は毎日の「食」という観点から、身近に感じられ、誰でも取り組める。また、住宅が多い杉並区だからこそ、生ごみの資源化の仕組みを連帯的に実現できる可能性がある。
- 脱炭素と両輪で、杉並区の豊かなみどりを守り育てていくためには、化石由来の肥料などに頼らずに、資源化される生ごみを緑化の推進につなげていくことが大事である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
生ごみを「資源」として区分を変更し資源として活用する 杉並区 町内会・商店街（回収を進めるためのパートナー） 区民 事業者 生ごみを活用してくれる区内の事業者 土づくりの専門家による堆肥化の指導	step 1 生ごみを資源として捉えることを杉並区が宣言する step 2 モデル地区で生ごみ回収の仕組みをつくる step 3 回収の仕組みをつくり、区全体へ広める 循環するシステムの実証実験をする

議論したアイデア

- 土として活用する場合は、区内の緑化活動に活かし、区内でつくった土であることをアピールする。
- 堆肥後の活用の課題については、「キエーロ」などコンポストの量が増えずに分解できる方法なども検討する。
- 土づくりだけに活用するには課題があるため、資源を区内で循環させることを大切に、バイオガスとしての再資源化なども検討する。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けて

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 土づくりの専門家が入ったの堆肥化、ぜひ実現してほしいです
- 生ごみの資源化のアイデアが良い
- 捨てる時、いつももったいないと思っていました。ぜひ実現してください

取組 16：リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会をつくる

6グループ
循環型社会

他のグループからの感想

気楽に学べる場、ぜひ実現して下さい

循環型社会

達成したいことは？ まちの身近なところにリサイクルできる回収拠点や場がたくさんある状態を実現する

取組 16 リサイクルの細分化を体験し、学べる場や機会をつくる

取組の内容

杉並区の資源回収率を高めるために、公園、駅、スーパー、公共施設など、日常生活の延長線上でリサイクルできるようにする。また、リサイクルの細分化など、先進的な手法を体験し学べる場をつくることで、区民のリサイクルへの理解も深める。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- ・ 家以外のまちの中でリサイクルを実施・体験できる場が少ない。
- ・ 公園などにはごみ箱が設置されているが、リサイクルボックスはないため、そういう場所でも子どもと一緒にリサイクルを実施・体験しながら教えられるようにする。
- ・ 「体験」をすることで「理解」や「学び」につながり、「日常」「当たり前」になっていくため、まずは体験する機会を増やすことが重要。徳島県上勝町の「HOTEL WHY」のように、リサイクルをはじめとする循環型な生活を、杉並区の日常の中でも体験できるようにする。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

リサイクル拠点としての場の提供

杉並区
区民 事業者

「リサイクルアンバサダー」による拠点の管理支援

駅、スーパーなど、リサイクルの強化に協力してくれる事業者

実現に向けたステップ

step 1
リサイクルひろば高井戸でリサイクルの細分化を体験の場として試行実施する

step 2
拠点の管理やリサイクルを推進する「リサイクルアンバサダー」を育成する

step 3
協力事業者を増やす

議論したアイデア

- ・ Park-PFIのように公園に併設したカフェなどで生ごみの回収を行うことなどを公園での民間活動の要件にする。
- ・ 3Rで連携しリサイクルに限らず、リユースなどを含めた循環型社会を推進するような場にする。
- ・ 取組13の「RE プレイス拠点」や取組14の「杉並区リユースストリート」の店舗などと連携する。

26 杉並区気候区民会議

最初は区民職員でスタートするが（本職）、身近な人になっていくためには、市民が主体にも関わりたい。

そのために、リサイクルのしくみをつくって人材を育成する。

特に事業者は民間→区民に

リサイクルアンバサダーの意図・イメージを追記。

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 気楽に学べる場、ぜひ実現してください

循環型社会

取組 17：リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やし、リサイクルしたくなる環境を広める

6グループ 循環型社会

「お出し達人」
（おみだし達人）
アプリ

他のグループからの

6. リサイクル費用の
リサイクル、同感です

17
「お出し達人」
というアプリが
あることも初めて知った。
普及大事。

循環型社会

達成したいことは？ 資源回収率 60% を実現するために、リサイクルの仕組みやプロセスに関する区民の認知度や理解を 80% 以上にする

取組 17 リサイクルについて目に触れる機会をまちの中に増やし、リサイクルしたくなる環境を広める

取組の内容

知らない人・関心がない人を主なターゲットに、駅、学校、まちの掲示板、区のアプリ、ごみ集積所など、日頃から触れるモノや場に、リサイクルの目標や達成状況、ルール、リサイクル後の活用実態など、リアルタイムな情報を発信する。掲載場所や発信方法は、様々な生活スタイルや情報の受け取り方に合わせて効果的な場所や媒体とする。また、ごみ集積所を管理する利用者との連携や情報共有を強化し、正しくリサイクルしたくなる環境を広め、行動実容につなげる。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

- 杉並区の資源回収率は現状 27.7% で区内でも高くなく、都内最高の 50% と比べると低い。現状よりも再資源化を進めるためには、資源回収率 60% 以上を目指す。
- 資源回収率を上げるには可燃ごみの有料化が効果的だが、23 区で有料化を実現するには時間がかかることから、杉並区では教育や情報発信を通じて認知度や意識を高めることに注力する。
- ごみ集積所への対応として、区では現在、正しく分別できていないところへの指導を提供しているが、優良事例の共有・展開は行っていないため、工夫や良い取組を広める必要がある。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

公園の掲示板などの区施設での情報発信、ごみ集積所の管理者との連携・情報提供、「なみすけごみ出し達人」の普及

杉並区
区民
事業者
集積所管理者

デパートなど
公共的な場を
運営する事業者

マンション・集合住宅のオーナーや管理者、町会など

実現に向けたステップ

step 1 既存の区のアプリの利用を広める
キャンペーンを実施する

step 2 日々の資源出しや分別を通じて正しいリサイクル方法を広める

step 3 資源管理の従事者と優良事例を共有する

議論したアイデア

- リサイクルするメリットや意義を感じる事が行動を変える1つの要因。気候変動対策や資源循環に最も効果的な資源とは何か。リサイクル品として資源がどのように活用されているかを知れると良い。
- 交番の事故件数のように、まちの見えるところにリサイクル達成率の最新情報を掲示する。
- 「なみすけごみ出し達人（マスター）」を活かす。

優良な集積所を認定して、不審な情報等反動にも記載して難入者でも正しいリサイクルを促す。

また、マップなどで、取組状況などを可視化する

ごみ集積所認定のイラストに変更

STEP3 E 変更 (2ヶ月以内内容追加)

展開していく内容に

優良集積所を認定して、マップ上で可視化する

「絶対評価」

優良集積所認定のイメージ

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 「ごみ出し達人」知らなかったの、アプリ入れました
- リサイクル費用がかかりますね、同感です
- 「なみすけごみ出し達人」というアプリがあることを初めて知った。やはり普及は大事

取組 18：私有地のみどりを区民が推し活として守るムーブメント 「推し樹林」をつくる

**7グループ
みどり**

「推し樹林」
基金設立
所有者へ
財政支援する

みんなが共同所有
する木があっても
面白そう。
ウェブで成長を
チェックできると
いい...

たのしみで
よいですね!
長くコミットでき
そう

PR
大事ですね!
広めていきましょ

「推し樹林」
基金説明が
おもしろい

7グループは
ホームページが
白く綺麗で、3月まで
5人参加した

みどり

達成したいことは? 区民一人ひとりが私有地のみどりに「推しの樹林」を持って応援・保全に関わる

取組 18 **樹林しか勝たん!**
私有地のみどりを区民が推し活として守るムーブメント「推し樹林」をつくる

取組の内容

屋敷林などの私有地の樹林を、所有者に意思確認した上で区民が守りたい「推し樹林」として推薦する。公開イベント（オープンガーデン）などで所有者の想いやストーリーを聞きながら、その魅力をアピールすることで、関心のない人にもみどりの大切さが届くようにする。推薦された樹林は「総選挙」と称して投票を行い、票を多く得た樹林には区・事業者・区民の協働による保全支援が受けられる。また、区民が身近な私有地とつながる機会をつくり、みどり保全活動の輪を広げていく。

取組の意義は? / なぜ杉並区に必要な?

- ・ 杉並区のみどりの約7割は私有地のものであり、その保全が課題となっており、みどりを大切に思う区民はいても、私有地に関わる機会が多くはないという現状もある。
- ・ 推し活のような視点で区を上げての大きなムーブメントとして周知、保全活動をプログラム化することで、私有のみどりを保全したいという区民の思いを生かすことができる。
- ・ 杉並区がアニメのまちであることも生かし、みどりや環境に関心がない層にも届くコンテンツづくりを行うことで、杉並区の文化への相乗効果を目指すことも大切である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
樹林の持ち主、推し活する人（樹林保全のサポーター）	step 1 仕組みの検討、持ち主へアプリアンク、協力事業者へのサウンディング（情報収集や検討）
区が主催	step 2 私有地でモデル実施、仕組みを固める
杉並区	step 3 私有地の所有者がPRできる
区民	議論したアイデア
事業者	・ 樹木のQRコードを読み取ると、推し樹林のストーリーを魅力的に伝える擬人化キャラクターと会うことができ、区内の樹林を回るのが楽しくなる仕掛けがある。
その他	・ キャラクターがアプリなどを通じて日々レスポンスがあることが推し活の継続性を担保する。区内のアニメ制作会社とキャラクターグッズ制作を通じ、持続可能な経済活動を回すことを模索する。（AIを使って日々レスポンスが返される機能や、区内のみどりを回り回遊につなげる機能など）
区外、海外からも応援できる投票種をつくり杉並のムーブメントを広く周知する	・ 募集する時点で所有者がキャラクター化も含めて共感・合意してくれる必要がある。

セロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 29

Handwritten notes on the right side of the page:
step1に区
区内の
私有地、
推しPR!
ストーリー
セット
私有地の所有者が
PRできる
仕組みが
おもしろい
パーソナル杉並の
区内の推し
木をPR
動画などで屋敷林をPR!

グループでの議論

- ・ 私有地の所有者からオススメを発信できる仕組みがあると良い
- ・ バーチャル杉並の森など、区内のみどりをまとめて知れると良い
- ・ 動画などで屋敷林をPR

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 「推し樹林」基金を設立し、所有者へ財政支援する
- みんなで共同所有する木があっても面白そう。ウェブで成長をチェックできると良い
- 楽しそうで良いですね。長くコミットできそう
- PR大事ですね。広めていきましょう
- ざっくばらんで楽しい説明が良かったです
- ネーミングが面白くて引きつけられました

みどり

取組 19：駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる

7 グループ
みどり

他のグループからの感想

みどり

達成したいことは？ 資本金がある事業者が杉並のみどりを守って、先導的にみどりを創り、増やしていく

取組 19 **みどりのおもてなし**
駅周辺や大規模な土地に、杉並の顔となるような良質なみどりをつくり区民と守り育てる

取組の内容

駅周辺（駅ビルや広場・駅前商店街）や、一定規模以上の民間事業者の敷地などで、杉並区の顔となるような良質な景観を生む緑化を推奨する制度をつくり、賛成した事業者にはインセンティブを提供する。また、創出されたみどりの保全にはアドプト（里親）制度など区民が参加できる仕組みをつくり、区民の意識や行動で杉並のみどりの質を高めていく。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要な？

- 駅や、事業者の大きな敷地など杉並区の顔になる場所に、豊かで質の高いみどりがあることで、区に訪れた人や、区民のみどりを大切にしての杉並のイメージが共有される。
- こうした顔となるみどりが、現状十分とは言えない。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

区は制度を運用

杉並区

区民 事業者

アドプト参加者 大企業、商店街（小規模店舗）

実現に向けたステップ

step 1 緑化を行う事業者へのインセンティブの検討

step 2 実際の開発に対して協力できる事業者とのシミュレーション

step 3 制度の実施・運用

議論したアイデア

- 緑化義務は既にありますが質に寄与しない現実もあるため、良質な緑化にインセンティブを与え質の向上を推進する。（※賛成事業者の「みどり割」、事業者のPR、その他優遇措置等）
- 対象は大規模開発や、街路樹の足元の補植や公共空間の植樹スペース、商店街は個店単位では緑化スペースが少ないが、店先に置くプランターによる緑化も含める。
- 良質なみどりの定義は、例えば大きな樹種（武蔵野の特徴となる竹塙、シラカシ）、土面の確保など。
- 自宅で育てたみどりを公共空間、商店街の店先に置いてみんなで世話をするなど、区民が関われるスペースがあると良い。

30 杉並区気候区民会議

取組の意義

「みどりのおもてなし」
みどりの人を呼べる

グループでの議論

- 事業者任せにせず、区民も参加することが大事

みどり

取組 20：みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる

**7グループ
みどり**

「みどり先輩」
世代をつなぐ
頼もしい存在を
区がPRしてほしい

ちょっとしたことを
聞ける専門家、
先輩がいるのは
心強いです!!

グループからの感想

みどり

達成したいことは？ 地域のみどりのことに詳しい区民を増やし、みどりをきっかけに詳しい人と地域の人につながる機会を増やす

取組 20 おいしい「みどり先輩」
みどりに詳しい区民を増やすために、身近なみどりの専門家とつなぐ「みどり先輩マッチングサービス」を立ち上げる

取組の内容

区民が、地域にいる身近なみどりの専門家（＝みどり先輩）とつながることができるマッチングサービスをつくる。地域のみどりをツアーで知る機会や、学習・体験などを通して、自宅はもちろん地域のみどりの保全に関わる力をつけることができる。専門家は、みどりの保全活動等を行う区民、地元の農家や園芸の専門家、東京都立農芸高等学校の生徒などが考えられ、取組を通して専門家もスキルアップにつながる相乗効果が見込まれる。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- ・杉並区には生産跡地も多く残り、農家や園芸関係者、農芸高校など地域の中でみどりに関わる先輩がたくさんいる。
- ・みどりのことについて知りたい、学びたいという区民が、身近な地域の中でみどりの先輩とつながることで、みどりのコミュニティやコミュニケーションが生まれるきっかけとなり、地域のみどりの知識や技術が広まり伝承されていくことが必要である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
区が仲介	step 1 > step 2 > step 3
みどり先輩に登録する人、みどりのお手伝いを希望する人	みどりの保全活動団体や農芸高校、マッチングサービス提供事業者へのヒアリング
杉並区	小さいモデル地区を特定しマッチングやアドプト制度の試行実験
区民	仕組みの実装
事業者	
その他	
農芸高校	

議論したアイデア

- ・「みどり先輩」は区が募集し、立候補と推薦を受け付け、「できること」や「地域」などをアプリのプロフィールに登録し、みどりのお手伝いの希望者とマッチングする仕組み。高度な技術を持っていない人でも登録でき、不要品とニーズをつなぐマッチングサービスの活用等を想定。
- ・マッチングは無料だけでなく、専門性のある技術に対しては有料の可能性も検討する。
- ・取組 18 の「推し樹林」や取組 19 の良質なみどりへのアドプトができる人材の登録制度につなげるといった運用が考えられる。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 31

step1 既存のみどり相談所 仕組みにもヒアリング

「ア行？」 専門家になる 必要 園芸に携わった 会社がサポート できる

「ア行？」 定期的な相談イベントをやる

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 「みどり先輩」という世代をつなぐ頼もしい存在を区がPRしてほしい
- ちょっとしたことを聞ける専門家の先輩がいるのは心強いです

24

取組 21：公共のみどりの整備をきっかけとした、コミュニティや活動の場を創出する

グループ
みどり

他のグループからの感想

みどり

達成したいことは？ より暮らしを豊かにするために、公共のみどりに愛着をもって関わる人を増やす

取組 21 公共のみどりの整備をきっかけとした、コミュニティや活動の場を創出する

取組の内容

公共のみどりは規模が大きいものが多く、心が癒やされ、防災面からも大きな力を持っているなど、区民の暮らしを豊かにする上で大切な要素の1つである。そのため、区が公共のみどりを整備するタイミングに合わせて、区民が自分ごととして関わるができるコミュニティを組織し、整備後の維持管理や運営の一部を担うなど協働の仕組みづくりを行う。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- ・ 杉並区は住宅都市であることから暮らしの豊かさが価値そのものであるが、公共のみどりはその規模や性質から、暮らしの豊かさに資する重要な役割を持つ。
- ・ 公共のみどりは民間の緑と比較して、広くたくさんの方が関わりをつくることができ、区内で希薄化しつつある。コミュニティ創出にも資することができる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p>区民参加型のワークショップのプログラムづくりと庁内部署間連携</p> <p> </p>	<p>step 1 > step 2 > step 3</p> <p>ワークショッププログラムで、みどりの活用方法を検討する</p> <p>みどりを整備する</p> <p>整備完了時にコミュニティが生まれ、活動を継続する</p> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 公共のみどりの整備に区民が関わり、意見が出せる。 ・ 区民だけではなく、区外からの参加も大切。 ・ 公共のみどりの整備に合わせたコミュニティ創出のプログラムをつくる。参加によって主体的に公共のみどりに関わる区民を増やす。 ・ 公共のみどりは街路樹や植栽も含めて幅広く捉える。 <p><i>ワークショップの成果は多様な社会も加味する</i></p>

32 杉並区気候区民会議

取組 22：歩いて 10 分森林浴ができる杉並区を実現する

8 グループ
みどり

森林浴エリアで
木や草花について
学べたら親子とかが
いきそう。

他のグループからの感想

気温が高い夏に
歩いて10分で森林
浴ができる場所
があるというのは
良いアイデアだ
と思う。 22

みどり

達成したいことは？ 区民が日常生活の延長で森林浴ができるぐらいの緑の量と質を、区内各所に増やす

取組 22 歩いて 10 分森林浴ができる杉並区を実現する

取組の内容

空き地・空き家を活用し、森林浴できるぐらいのボリュームの樹林のような空間を増やす。広さは1坪程度からはじめ、人が気軽に安心して過ごせる樹林地のような空間を、歩いて10分という身近にアクセスできる距離で、わかりやすい指標を掲げながら、杉並区内に適切な樹林地のような空間を確保していく。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- ・未利用地の活用。(事業所の駐車場、校庭など)
- ・心の豊かさを大事にする区だからこそ、森林浴のような場が大切。
- ・住んでいる人が満足し、享受できる住宅地中心の杉並区。
- ・「歩いて10分」などの客観的な指標をつくり、みんなのみどりへの関心を高め、取り組みたいと思えるスローガンが必要である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

全体像を見極めた計画、補助金制度、土地の提供や貸与など地域連携、事業者への義務化など(一角を)

杉並区

利用、管理 区民 事業者 植木屋さん、先生 その他

高店会、街路樹、若手の集まり、コミュニティをつうじて、みどりを増やす仲間を作る

実現に向けたステップ

step 1 緑被率にどこまで貢献するか試算。指標づくり

step 2 森林浴マップをつくる(どこにあるかわかる)

step 3 ターゲットを見きわめる。すでにある屋敷林を手本につくる

議論したアイデア

- ・地域の課題になっている空き地・空き家の土地を、森林浴できるみどりに転用することで有効活用すると同時に、人が訪れるようにすることで、人の目が増え、地域の安全・安心もアップさせる。
- ・森林浴といっても、一人が樹木に囲まれるような1坪森林浴からスタートさせ、ちょっとしたスペースから始めて、そのスペースが緑被率などに効果も検証する。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 33

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 森林浴エリアで木や草、花について学べたら親子とかがいきそう
- 気温が高い夏に歩いて10分で森林浴ができる場所があるというのは良いアイデアだと思う

取組 23：各個人のみどりを増やすサポートを充実させる

8 グループ
みどり

他のグループからの感想

みどり

達成したいことは？ 公共用地のみどりに頼らず、区民だれもが自らみどりを増やす主体になる

取組 **23** **各個人のみどりを増やすためのサポートを充実させる**

取組の内容

持ち家だけでなく、だれもが個人のみどりを増やしたいと思うことのできる「得する」制度を充実させる。緑を増やす方法をパッケージ化し、緑を増やすハードルを下げるほか、パッケージ導入のみどりを増やした住宅としての認知や緑被率アップにだけ貢献するのかわかりやすくする。また、緑を育てるときに「みどりの先輩」などのアドバイスもらえるためのマッチングサービスや得するノウハウをWebなどで周知するなど、支援を行う。

取組の意義は？／なぜ移住区に必要な？

- 住宅地が多い（民有地7割）が、住宅地の緑被率が低く、特に賃貸マンションの緑被率が低いのが課題になっている。
- ガーデニングなどを始めても、手入れの仕方を聞くチャンスがホームセンターで購入したときなど限られてしまっていることが多い。
- みどりを育てる時に、剪定の仕方や維持管理を自分だけではできない。
- みどりを増やすための補助金などの支援は、持ち家や事業所などに限られていて、賃貸住宅などはメリットを感じない。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

個人・個人向け
パッケージ化、クーポン等を運営

実現に向けたステップ

step 1 やってみたくなるメニューを整理する
step 2 PRする：不動産やYouTube等でも展開
step 3 メニューを簡単に比較検討できる仕組みをつくる

既存制度だけでなく、緑化している住宅の家主や借主に家賃補助やポイント付与など得する仕組みをつくる。

やってみたくなる（専門家に移住らしいものをデザイン）ステキなメニューをアパート版、マンション版、事業所版等つくり、だれもが導入しやすくする。

Webを活用し、専門家とのマッチングやノウハウを気軽に探したり、維持管理できるようにする。

取組 20 のサポート制度（みどり先輩）を活用し、みどりを増やす人材に助けてもらう。

手紙、緑被率、税金、区に裁量、グリーン対応、学校、不動産、グリーン対応、マンション認定、制度をつくる、みどりの認定教室を実施（やり方を気軽に見られたり、相談もしやすくなる）、移住区気候区民会議

一人て

緑化のきっかけ

サポート制度

移住区

区民

事業者

学校

不動産、グリーン対応、マンション認定、制度をつくる

みどりの認定教室を実施（やり方を気軽に見られたり、相談もしやすくなる）

移住区気候区民会議

貸賃住宅の場合、住民同士やグループで取り組むのであれば、緑化費の補助は可能性として大きい

税金：区に裁量が無いので制度化しづらい

緑化そのものに対する補助までは区として取り組める

貸賃住宅の場合、住民同士やグループで取り組むのであれば、緑化費の補助は可能性として大きい

グループでの議論

- ・ 枠組みと手入れを双方にサポートする
- ・ 税金の免除などについては、区に裁量がないので制度化しづらい
- ・ 緑化そのものに対する補助までは区として取り組める
- ・ 賃貸住宅の場合、住民同士やグループで取り組むのであれば、緑化費の補助は可能性として大きい

取組 24: 「わたしが緑を増やさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる

グループ
みどり

他のグループからの感想

緑被率の効果
= 量1いり
= 杉並区の緑面積
3,400 ไร่
わかりやすい
数値 目標

みどり

達成したいことは? みどりの目標数値である緑被率を知らない人が多い状態から、目標と現状を知っている区民を増やし、緑を増やす機運をつくる

取組 24 「わたしが緑を増やさなきゃ」と思える新たなグリーン指標をつくる

取組の内容

みどりを増やすことの必要性を生活者の視点で自分ごととして捉えられるように新たな緑の指標を設定するほか、クイズや身近な場所での広報などを活用し、みどりに関する目標となっている「緑被率」の認知度を高める。また、区全体の緑被率の数値に採われず、みどりをどこにどれだけ増やすか具体的な目標を設定し、公共任せにせず、区民一人ひとりがみどりを増やす当事者であることの自覚を促す。

取組の意義は? / なぜ杉並区に必要な?

- 日常生活で、身の回りの緑の現状や将来像を知る機会がほとんどない。
- みどりの量の指標（緑被率）そのものについて知らない人がほとんどだが、認知度に関する調査もされておらず、数値化されていない。
- 緑被率を上げるという目標では漠然としてしまい、みどりを増やすことに対して人任せになってしまうため、ブレイクダウンした数値目標が必要。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
新しい指標の設定、住民税の通知での周知	step 1 新指標をつくる
PRコーナーの設置	step 2 住民税の通知などを利用して周知する
みどりを増やす当事者であることの自覚をもつ	step 3 取組 23 へつなげ、メニューを使ってみどりを増やす

議論したアイデア

- 数値目標や現状を町目や商店街ごとなどブレイクダウン（具体化）し、身近な場所の緑の現状を把握できるようにする。
- 緑被率そのものが、客観的である一方、共感しづらい指標なので、自ら緑を増やそうと感じられる新たな指標を設定する。
- 住民税の通知などを利用して緑被率や新しい指標についてお知らせすることで必ず目にしてもらう。また、税金がみどりを増やす取組にどのように使われているかを理解するきっかけにもする。

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 35

二酸化炭素がどれくらい減るのか
1区全体の効果を知りたい

樹種や木の年による効果が異なる

グループでの議論

- ・ 樹種、木、草によっても効果が異なるため、二酸化炭素がどれだけ減るのかの効果も知りたい
- ・ 緑被率の効果 = 量1いり ÷ 杉並区の緑面積 などのわかりやすい目安が必要

取組 25：緑視率 30%の小さなモデルエリアをつくる

9 グループ
みどり

阿佐ヶ谷をモデルエリアにする案は具体的にイメージしやすく Good!

阿佐ヶ谷にそんな緑視率の高いエリアがあったとは 緑視率30%目標に活動する Good!

数値での説明が分かりやすくて良かった

緑視率という視点、指標が直感的に認識できて素敵です

みなのお手本になるので良いと思います

緑視率の取組み素晴らしいです。ぜひ進めてほしいと思います

達成したいことは？ 住みやすさのシンボルとして、目に見えるみどりを図る緑視率を30%にする

25 緑視率 30%の小さなモデルエリアをつくる

取組の内容

目に見えるみどりが多くあることは、視覚的な癒しや、心地よさが高まり、暮らしやすさにもつながるため、緑視率に着目し、それを高めていくための仕組みをつくる。小さなエリアを設定し、エリア内で暮らす区民が主体的に考え、議論し、アクションする場（みどりの協議会など）をつくり、アクションを通じてエリアごとに特色を活かしたみどりを増やすことで、緑視率 30%を達成する。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- ・ 杉並区は住宅都市として生活・暮らしの場所であり、住みやすさや心地よさの観点から過ごす時間を豊かにするみどりや目に見えるみどりが大切である。
- ・ みどりを増やすことは維持管理のコストが増えることにもつながり、区民が愛着を持ってみどりの維持管理に関わることができる官民連携の仕組みづくりが財政上も重要である。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
<p>エリア設定 エリアのステイクホルダーへの声掛け</p> <p>杉並区 エリア内に暮らし ている区民 町会、自治会</p> <p>区民 事業者 営む事業者 専門家</p> <p>みどりのアドバイザー (育て方などに詳しい方)</p>	<p>step 1 > step 2 > step 3</p> <p>エリア設定とモデル エリアの選定、エリ アの設定、ステイクホルダーに アの緑視率を調査し て見える化する</p> <p>ステイクホルダーに 声掛けし、みどりの 協議会をつくる</p> <p>協議会を軸に、エ リアごとにアクシ ョンを継続する</p> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 身近な生活のみどりを増やすことが大切。 ・ 緑視率の地域差をなくしていくことが大切。 ・ アサガオの種の配布など、エリア内で小さく取り組むことができる活動が生まれる仕組みができると良い。 ・ 街路や水路のデザインに区民が関わることができる仕組みづくりを行う。

協議会に関わる
下加身加身の
モチベーション
維持することが
大切。

参加した区民が
アトに何にそれ
仕組みづくり

緑視率の取組
相対して
是非進めたい
と思う

／ 他のグループからの感想・応援メッセージ ／

- 阿佐ヶ谷をモデルエリアにする案は具体的にイメージしやすく良い
- 阿佐ヶ谷にそんなに緑視率が高いエリアがあったとは
- 視聴率 30%目標に活動するのが良い
- 数値での説明が分かりやすくて良かった
- 緑視率という視点、指標が直感的に認識できて素敵です
- みなのお手本になるので良いと思います
- 緑視率の取組み素晴らしいです。ぜひ進めてほしいと思います

交通

取組 26：車利用からの転換を推進するため、徒歩や自転車の利用を促進するようなアプリを開発し、便利さ・楽しさを伝える

10 グループ 交通

目指す姿が具体的に明確なところが良いと感じた。

自転車専用レーンなど安全なルート案内していき

楽しいだけでなく安全性を高めるようにマイナス面を減らす

道路の整備が必要ではないか

日々の利用者増加につながる良いアイデアだと思います

Google Map と連携できるといいです

安全で

達成したいことは？ 徒歩や自転車の利用を楽しく快適にすることで、車での移動を減らす

26 取組 車利用からの転換を推進するため、徒歩や自転車の利用を促進するようなアプリを開発し、便利さ・楽しさを伝える

取組の内容 自転車や徒歩、歩いて楽しいルートがマップになっているアプリを開発する。坂道が少ない、木陰が気持ちいいなどの情報がわかり、みどりや歴史、季節の花を感じるルートを選べるなど杉並区らしさを出す。また、高低差のないモードや健脚モードなど、検索条件を変えて探せたり、駐輪場の場所や空き状況も分かたりするようにする。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？

- 自転車は、スピードを出さなくても約5km未満の距離では、他の移動手段よりも早く移動できる。東西・南北の最長が7km程度の杉並区内の移動においては、自転車が効率が良い。
- 現状、区民は非常に歩いているが、日本一を目指していることが大切！気候変動の対策だけではなく、生活習慣病を予防し健康寿命の延伸にもつながる。
- 健康で文化的な区長というのは、区のイメージアップにつながる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
徒歩や自転車利用で便利・楽しいアプリの開発 杉並区 区民 事業者	step 1 自転車の便利さ、徒歩の健康増進効果などをもっとPR step 2 徒歩や自転車利用で便利・楽しいアプリの開発 step 3 情報と区民が書き込み、アプリの活性化につながる

議論したアイデア

- ウォーターサーバーの設置場所をマップに入れる。
- 木陰や公園など、涼しく休みながら歩ける環境を整える。
- アプリでポイントがたまるようにして、活用を促す。(取組27の「ポイント制度」と連携できるとよい)
- 「今こんな花が見頃」「ここでこんなイベントをやっている」など、区民が書き込むことができ、区内を周遊して楽しいアプリにしていけるとよい。

企業目線でサービスから、徒歩前の交通音削減に向けた取り組み

自転車専用レーンなど安全なルート案内していき

楽しいだけでなく安全性を高めるようにマイナス面を減らす

グループでの議論

- ・ 自転車専用レーンなど安全なルート案内していき
- ・ 楽しいだけでなく安全性を高めるようにマイナス面を減らす

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 目指す姿が具体的で明確なところが良いと感じた
- 道路の整備が必要ではないか
- 日々の利用者増加につながる良いアイデアだと思います
- Google Map と連携できるといいです

交通

取組 27：自動車を使わないことが杉並を楽しむことにつながるポイント制度を設ける

10グループ 交通

他のグループからの感想

ループなども増えていますし、ぜひ進めていただきたいです

交通

達成したいことは？ 自動車以外の交通手段を利用したくなるインセンティブを増やし、自動車の利用を減らす

取組 27 自動車を使わないことが杉並を楽しむことにつながるポイント制度を設ける

取組の内容

自動車ではないゆっくりとした移動手段を選択することでポイントが貯まって、お得に感じられる制度を設ける。区内のグルメや名所などの紹介や、参加者の交流の場づくり、ポイントを多く集めた人を表彰するなど、自動車を利用しないという行動が杉並を楽しむことにつながるようにする。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

- 区民の行動の規制や制限のようなネガティブな取組ではなく、ポジティブに自動車以外の移動手段を選択したくなるインセンティブを用意することで、区民の行動変容につなげる。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ
ポイントの制度づくり	step 1 > step 2 > step 3
<ul style="list-style-type: none"> 杉並区 区民 事業者 その他 	<p>ポイント対象施設 参加者の交流の場づくりや高ポイント獲得者の表彰などを行う</p> <p>マップなどでポイントが得られる施設</p>

議論したアイデア

- 自動車以外の交通手段を使うことに対するインセンティブが必要。
- ゆっくりとした移動を楽しむことができる仕組み。
- 杉並区のグルメや名所、句の情報チェックポイントとして掲載したマップを利用し、ポイントを集めながら移動することができる。自動車ではなく徒歩だけが利用できない目的地を設定する。
- 登録されたお店を利用すると、特定のキャラクター入手できるのも面白い。
- ポイントや表彰などの名譽が得られるとよい。
- ポイント利用者が集めるような情報交換の場をネット上に用意する。

商店街でもポイントを使えると良い
個性の飲食店、アンティークショップなど

歩数、歩いた距離
大きな公園にチェックポイント (スタンプラリー) など

リアルとセットでバーチャル空間にポイントがある
ポイントを貯めるために、区民が距離感をイメージしやすい単位があると良い

歩数と区内
体音着きして単位にする
自転車もポイントに

移動距離 × CO₂ の少ない交通手段 = ポイント

グループでの議論

- ・ 商店街でもポイントを使えると良い (行く機会にもなる) 個性的な飲食店、アンティークショップなど
- ・ どうやってポイントを貯めるか：歩数、歩いた距離
- ・ 大きな公園にチェックポイント (スタンプラリー)などを設置。GPS や Google Mapなどを活用する
- ・ リアルとセットでバーチャル空間にポイントがある
- ・ ポイントを貯めるために、区民が距離感をイメージしやすい単位があると良い。区内体育館などを単位にしてはどうか
- ・ 自転車もポイントに
- ・ 移動距離 × CO₂ の少ない交通手段 = ポイント

他のグループからの感想・応援メッセージ

- Luup なども増えていますし、ぜひ進めていただきたい

交通

取組 28：車利用から自転車への切り替えを促す事業者の取組にインセンティブをつける

11 グループ 交通

11月までには今日の自転車にしようかなと考えるきっかけになりそう

自転車使用が、日本一に近づいたら素晴らしい。

グループからの感想

駐輪場の整備を考えた... 駅周辺や大型商業施設の駐輪場を提供してもらおうとか

安全が心配

交通

達成したいことは？ 1日当たりの区民の自転車利用時間を9.8分から15分を増やす

28 車利用から自転車への切り替えを促す事業者の取組にインセンティブをつける

取組の内容

車から自転車通勤に切り替えた社員に対して通勤費を優遇するなど、自転車利用を促す事業者の取組を応援する。併せて、営業車や配達車・バイクを自転車に切り替えた場合や、駐車場を駐輪場に変えた場合などに、区からの補助を検討する。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要なの？

- 現状、区民の1日の自転車利用時間は9.8分で、23区トップであるが、日本一を目指していくことが大切！気候変動の対策だけでなく、生活習慣病を予防し健康寿命の延伸にもつながる。
- 通勤、業務用の車利用を事業者単位で自転車に転換していくことで、二酸化炭素の排出削減の効果が見込め、事業者としても社員の健康維持増進につながるメリットがある。

実現に関わるべき主体

通勤や事業用の車から自転車への切り替えに対し補助など

杉並区
区民 事業者

車通勤の場合、自転車・公共交通への切り替えを検討

通勤や事業用の車から自転車への切り替えを推進

実現に向けたステップ

step 1 > step 2 > step 3

通勤・事業用の車から自転車に転換する **開始**

補助を区で検討

議論したアイデア

- コインパーキングを駐輪場に変えた場合(車1台のスペースで自転車12台が停められる) 事業者にインセンティブをつける。
- 事業者が併用で駐輪場を設け、シェアサイクルする自転車を確認する。
- 駐輪場の数を増やし、利用状況をデジタルで可視化。
- 区は電動アシスト自転車の購入を支援する。

日本一の自治体は一体何分自転車を利用しているのか？

15分で大丈夫？ ↓ 数字は変更が必要か？

安全が心配

企業では自転車通勤はあまり奨励されない面もあるのでは？ (車も同じだが)

ヘルメットをかぶる法規を守るという根本的な安全性も大切

安全性の視点の担保が大切

ヘルメットをかぶる法規を守るという根本的な安全性も大切

安全性の視点の担保が大切

グループでの議論

- 日本一の自治体は一体何分自転車を利用しているのか？
目標の設定は15分で大丈夫か？できれば数字を知りたい
自転車利用時間を指標として取り上げている自治体が少ないため、正確な数値はお示しできません (区回答)
- 企業では自転車通勤はあまり奨励されない面もあるのでは？ (車も同じだが)
- ヘルメットをかぶる法規を守るという根本的な安全性も大切
- 安全性の視点の担保が大切

他のグループからの感想・応援メッセージ

- いつも車だけど今日自転車にしようかなと考えるきっかけになりそう
- 自転車使用率が日本一になったら素晴らしい
- 駐輪場の整備も考えなければならない。駅周辺や大型商業施設の駐輪場を提供してもらおうとか
- 安全が心配
- 自転車利用で日本一を目指す意気込みが感じられました。Well-being に向けて杉並区で一致団結したい
- 企業はインセンティブに加え、従業員の交通費削減になり、良いと思います

交通

取組 29：物流で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に変化させる

10グループ
交通

ポイントと利益
の
名譽という意識が
ないとも思っている

他のグループからの感想

交通

達成したいことは？

配達や業務で使う商用車の移動を効率的にする

取組 29

物流で使う自動車を減らすために、商用「車」から商用「X」に変化させる

取組の内容

仕事で利用する自動車を減らすため、配達の効率化や再配達を減らす任組への導入などを事業者等に促し、自動車以外で業務利用しやすい自転車や電動スクーター、ドローンといった空中輸送などの新しい手段を普及させる。市場からスーパーへの配達といった事業者間の配達も対応できるようにすることで、移並区内の配達を効率化し物流のために使用する自動車の総数を減らす

取組の意義は？ / なぜ移並区に必要な？

- 移並区の交通についての統計データでは商用車の占める割合が高いため、商用車を減らすことで脱炭素化の効果が見込める。

実現に関わるべき主体

税金を安くする、充電スポットを増やす

主要な宅配業者やEコマース事業者でコンソーシアムをつくる

議論したアイデア

- 商用「X」は自転車でも電動スクーターでも良い。
- B to B の配達も対応できるようにしたい。
- 個人で乗用車を使って貰い物するより、効率的に配達するネットスーパーを利用したほうが、自動車移動が少なくなるようにする。
- 自転車フレンドリープロジェクトとして、物流の労働環境の向上やエコ通勤も対象にする。
- 配達時に在宅、カレンダーアプリと発送のリンク、SNSでの配達の前通知、不在時の置き配など。

ゼロカーボンシティ移並の実現に向けた提案 41

他のグループからの感想・応援メッセージ

- ポイントとかの利益でなく、名譽という意識づけがとても良いと思う

交通

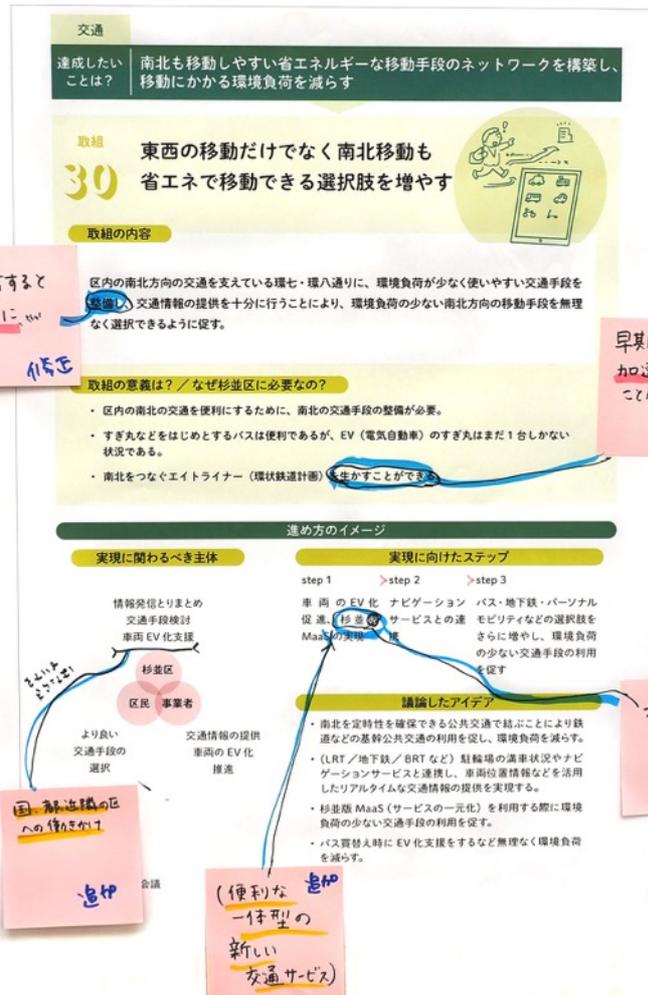
取組 30：東西の移動だけでなく南北移動も省エネで移動できる選択肢を増やす

12グループ 交通

30
LRT+BRTのような
交通手段とお互いの
に議論してレベルを
上げる。(取組に賛同)

JR 駅の
南北も行き
来しやす
くみずび
自転車も

グループからの感想



他のグループからの感想・応援メッセージ

- LRT や BRT のような交通手段をより具体的に議論してもらいたい。自分では取り組みに賛同
- 自転車も含めて、エレベーターのような JR 駅の南北を行き来しやすい仕組みがほしい

交通

取組 31：区内の移動を快適に！南北を楽しく空でつなぐ

10グループ 交通

みなとみらいの
YOKOHAMA AIR
CABINのよう
ただの移動手段ではなく
ちょっと使ってみたく
なるようなものになっていて、
実現してほしい

31
ロープウェイ、
チューブ歩道など突飛なイメージも
あるが長い目で考えていきたい
感じ

観光、デート
スポットに
したい
ぜひ実現してほしい

交通

達成したいことは？ 杉並の景色を空から楽しめるような新しい移動手段を確保する

取組 31 区内の移動を快適に！
南北を楽しく空でつなぐ



取組の内容

空中にロープウェイやチューブ状の空中歩道といった新しい交通手段を整備する。自動車の利用による利便性よりも、移動手段そのものが魅力的になることで、自動車の利用の減少につなげる。さらに、杉並区内の緑化が推進されると、空から緑豊かな景観を楽しむことができるようになる。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要なの？

- 杉並区内の南北移動の主要環線となる環七・環八通りは、自動車で移動しようとするとう交通渋滞から移動に時間がかかっており、余分な排出ガスを出している。

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体	実現に向けたステップ						
<p>検討体制を整え、整備する</p> <p style="text-align: center;">杉並区</p> <p>区民 事業者</p> <p>必要なルートを考える</p> <p>鉄道会社は、急行の停車する駅と接続できるようにする</p>	<table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">step 1</td> <td style="width: 33%;">step 2</td> <td style="width: 33%;">step 3</td> </tr> <tr> <td>ルートのニーズがあるか調査する</td> <td>ベストな移動手段を検討する</td> <td>SNSで新しい交通手段をPRする</td> </tr> </table> <p>議論したアイデア</p> <ul style="list-style-type: none"> 上から緑も見え、景色も楽しみながら、ロープウェイなどで空を移動できるようにする。 環七・環八通りの上にチューブ状歩道を整備する。 自動車の便利を超える魅力的な交通手段を利用できるようにする 	step 1	step 2	step 3	ルートのニーズがあるか調査する	ベストな移動手段を検討する	SNSで新しい交通手段をPRする
step 1	step 2	step 3					
ルートのニーズがあるか調査する	ベストな移動手段を検討する	SNSで新しい交通手段をPRする					

ゼロカーボンシティ杉並の実現に向けた提案 43

他のグループからの感想・応援メッセージ

- みなとみらいの YOKOHAMA AIR CABIN のように、ただの移動手段ではなく、ちょっと使ってみたくなるようなものになっていて、実現してほしい
- ロープウェイ、チューブ歩道など突飛なイメージもあるが長い目で考えていきたい
- 観光、デートスポットになりそうなので、ぜひ実現してください

交通

取組 32：交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする

12グループ
交通

他のグループからの感想

交通

達成したいことは？ モビリティの結節点としての駅を活用し、単なる結節点から買う・憩う・遊ぶ・集う・学ぶ場にする

取組 32 交通結節点を人にやさしく付加価値の高い場にする

取組の内容

駅周辺などの交通結節点に便利な機能を集め、歩行者空間を歩きやすく・歩きたくなるように整備することや公共交通の乗り換えをしやすくすることにより、人と環境にやさしい付加価値の高い場にする。

取組の意義は？／なぜ杉並区に必要な？

- ・ 駅によって、便利な駅と不便な駅のばらつきがある。
- ・ 駅によって期待される役割の違いがあると思われる。

駅周辺の環境を向上させるために必要な整備をする

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

計画づくり アンケート 移住区 区民 事業者

乗り換え情報などの積極的な利用 鉄道事業者等 (JR、京王、西武メトロ) による駅周辺の提供

実現に向けたステップ

step 1 駅利用者や周辺住民、駅や事業者等に情報収集を行い、各駅に求められる機能を多岐から整理する

step 2 駅周辺や結節点の課題を把握し、改善の方向性を整理する

step 3 公共交通機関の利便性を高め、整備後に再度情報収集し、改良を重ねながら付加価値を高めていく

議論したアイデア

- ・ 駅やエキナカに文化施設や商業施設をポートなどを配置して利便性を高め、家用車等ではなく公共交通の利用促進
- ・ アンケートをもとに計画することにより、あり方を総合的に考えてみんなが使える整備・利用を進める。
- ・ 人が多く集まる駅周辺を居心地の良い空間にするため、天候に左右されず歩きやすくなり、回避性を高めたりするハード面の整備をする。

公共サービス 修正

駅周辺の環境を向上させるために必要な整備をする

の言動への参加 変更

44 杉並区気候区分

駅は移動の時
にしか使わないという
概念ではなく、
それぞれ駅に
付加価値を与える
という考え方がいい
と思います。 32

32
「駅」は多くの
可能性があるので、
総合的に考え直す
のは重要だと思います。

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 駅は移動する時にしか使わないという概念ではなく、それぞれの駅に付加価値を与えるというのは素晴らしいと思う
- 「駅」は多くの可能性があると思うので、総合的に考え直すのは、重要だと思った

交通

取組 33：四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

12グループ
交通

環境づくりの
キの足りも
必要になるかと

緑の中を歩くといいのは
たしか科学的にも健康に
良いというエビデンスも
あるが、区民の
区民のウェルネス促進にも
良いと思います！

ループからの感想

交通
達成したいことは？ 歩きたくなる街並みをつくり、環境負荷の少ない徒歩移動を増やす

取組 33 四季折々の緑が楽しめる安全安心な移動空間をつくる

取組の内容
推したくなるような四季折々の景色を楽しむことができ、明かりを増やすなど安全安心な通行ができるような道を整備・運用することで、歩道、緑道、川沿い、旧水路などを楽しく安全安心な移動空間にする。

取組の意義は？ / なぜ杉並区に必要な？
 ・ 杉並区はすでに適度な緑化が進んでいる
 ・ 川沿いはもって活用できる
 ・ 高齢者が増える中での視点も必要である

進め方のイメージ

実現に関わるべき主体

川沿い・街路などの整備

安全安心なデザイン
の提案
/ 休めるカフェ
などの提案

歩きたくなるモデルートの提案

実現に向けたステップ

step 1
沿道住宅の玄関照明の設置、人感センサー付き街路灯の導入、モデルートの設定

step 2
歩きたくなるデザインづくり、沿道で休める空間の設置（ベンチ、カフェ等）

step 3
安全安心な公共空間の整備

議論したアイデア

- ・ 歩道周辺の適度な緑化と管理を進めるほか、一緒に歩いたり、ベンチを設置したりするなど、高齢者にも歩きたくなるきっかけをつくる。
- ・ 玄関先の明かりも利用して、歩道を安心・安全にし、歩行者が気軽に休める公園などの公共空間を維持・整備することにより、徒歩へのハードルを下げた徒歩移動を促す。
- ・ 歩くことにお得感を感じてもらい、更に雨の日も歩きたくなるような仕掛けをつくる。

空間にある (川沿い)

緑豊かな憩いの空間にする

や活用

追加

関係する

規制などの検討

追加

運営

修正

他のグループからの感想・応援メッセージ

- 環境づくりのため、車の規制も必須になるかと
- 緑の中を歩くというのは確かに化学的にも健康に良いというエビデンスもあった気がするので、区民のウェルネス促進にも良いと思う

4 | 振り返り・今後に向けた意見交換の記録

進め方

杉並区気候区民会議への参加を通じて感じた変化や気づきを振り返り、気候変動への取組を推進していく上で、杉並区気候区民会議の意見提案をどのように生かしていくべきか、区に期待することなどについて幅広く意見交換しました。



1 グループ

グループ 1 杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第4回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？ 意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げっていくためには？

感想

- 司会 モデレーターの進行が良かった
- アジェンダが面白かった
- 各委員の意見が思っていたより面白い
- 多様な世代、性別の方々が参加して、偏りが少なかった
- 多様性の視点!!

変化

- 各委員の意見が思っていたより面白い
- 多様な世代、性別の方々が参加して、偏りが少なかった
- 多様性の視点!!

期待

- 区民の中には、不安定な意見が出ることがあるから、定期的な会議を開いてほしい
- いい提案はないか？ (例えば、セリズベットの設置など) 検討してほしい
- 他の区にも聞いてほしい
- 区にお金がほしい!!

2名も実行!!

会議の振り返り・感想

●インプットとアウトプットが両方あってよかった

- 勉強になりました。楽しかったです
- インプット部分、アウトプット部分の両方あってよかった。バランスもよかった

●年齢・性別を超えて多様な視点で議論できた

- 性別・年齢を超えた考えを聞く機会となり新鮮だった
- 様々な世代、性別の方が参加して、偏りが少なかった
- 多様性の視点

●途中から参加できなかった人の意見も大切にしてほしい

- 途中から参加しなくなった人、できなくなった人の意見も大切にしてほしい

●グループのプレゼンが素晴らしかった

- みなさんプレゼンが素晴らしかったです

●議論した取組を実施し、周囲に話すようになった

- ・ 省エネに向けた取組を行うようになった（エアコンの掃除月一回）
- ・ エネルギー・省エネのことを周りの人に話すようになった
- ・ 太陽光パネル+蓄電池を設置すると思う。グループから2名も実行！
- ・ 趣味になった

●区民参加型で、共通の目的のために議論することの一体感や意義を感じた

- ・ 区民参加型の会議が楽しくなり他の会議にも参加するようになった（下井草まちづくりラボ）
- ・ 仕事ではないが仕事のように共通の目的のため考えや知識を話すことができ、より勉強したいと思えた
- ・ 同じ杉並区民で話し合うことで一体感が生まれた

●進行がよかった

- ・ 司会・モデレーターの進行がよく楽しかった
- ・ ファシリテーターがすばらしかったです
- ・ 思いつきのコメントでも石塚計画デザインの方々が丁寧に広げてくださり、建設的に考えられた

今後に向けての意見

●不定期でもこのような会議を継続的に開催して広げていきたい

- ・ 不定期にでも（継続的に）こういった会議を開催してほしい
- ・ メンバーを変えて継続してほしい（気候の関心アップにつなげ、一回で終わらせない）
- ・ 他の区にも広げて行ってほしい
- ・ シンポジウム出席したいです！
- ・ 気候変動について広く伝えていく（意識する）機会をつくっていく必要がある

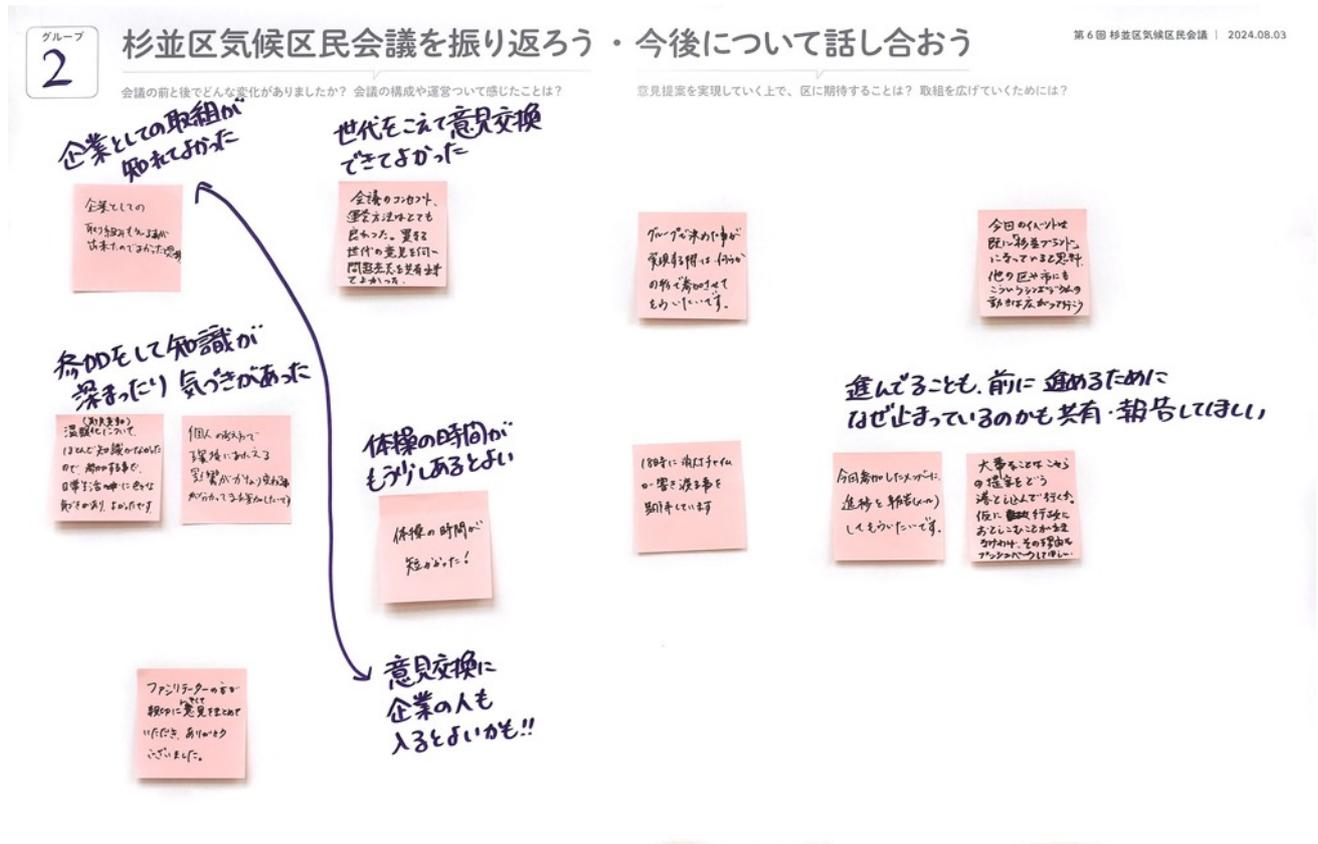
●できるところから、スピード感を持って実現してほしい

- ・ 区民の中には、否定的な意見が出るかもしれないが、できるところから実現してほしい
- ・ いい提案については、ぜひスピード感をもって取り組んでいただきたい

●定期的に取り組みの進捗をウェブで公開してほしい

- ・ シンポジウムだけでなく、全ての取組の進捗を web などで公開し続けてほしい

2 グループ



会議の振り返り・感想

●企業としての取組が知れてよかった

- ・ 企業としての取組も知ることができたのでよかったと思います
- ・ 意見交換に企業の人も入るとよいかも！

●世代を超えて意見交換できてよかった

- ・ 会議のコンセプト、運営方法はとてもよかった。異なる世代の意見を伺い問題意識を共有できてよかった

●参加をして知識が深まり、気づきがあった

- ・ 温暖化について、ほとんど知識がなかったので、参加することで日常生活にいろいろな気づきがあり、よかったです
- ・ 個人の考え方で環境に与える影響がかなり変わることが分かって、また参加したいです

●体操の時間がもう少しあるとよい

- ・ 体操の時間が短かった！

●進行について

- ・ ファシリテーターの方が親切にそして意見をまとめていただき、ありがとうございました

今後に向けての意見

●進んでいることも、前に進めるためになぜ止まっているのかも共有・報告してほしい

- ・ 今回参加したメンバーに進捗を報告（メール）してもらいたいです
- ・ 大事なことはこれらの提案をどう落とし込んでいくか。仮に行政に落とし込むことができなければその理由をプッシュバックしてほしい

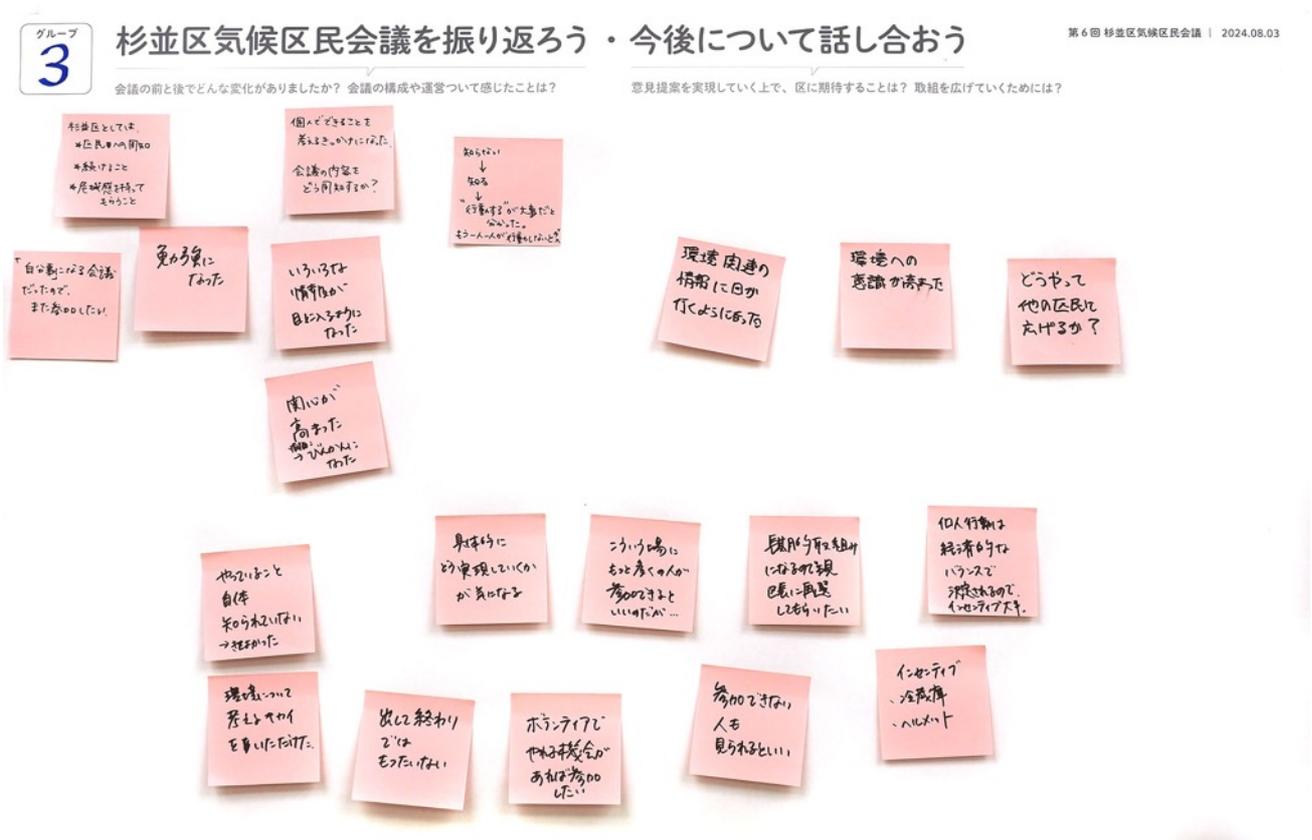
●取組の実現に関わりたい・実現に期待する

- ・ グループで決めたことを実現する際は、何らかの形で参加させてもらいたい
- ・ 18時に消灯チャイムが響き渡ることを期待しています

●気候区民会議がすでに「杉並ブランド」。もっと広げていきたい

- ・ 今回のイベントは既に「杉並ブランド」になっていると思います、他の区や市にもこういうシンポジウムの動きは広げていく

3 グループ



会議の振り返り・感想

●気候変動問題が勉強になり、考えるきっかけや「自分ごと」になった

- ・ 勉強になった
- ・ 「自分事」になる会議だったので、また参加したい
- ・ 個人でできることを考えるきっかけになった
- ・ 環境について考える機会をいただいた

●環境への関心や意識が高まり、情報を意識するようになった

- ・ いろいろな情報が目に入るようになった
- ・ 関心が高まった→情報に敏感になった
- ・ 環境関連の情報に目が行くようになった
- ・ 環境への意識が高まった

●一人ひとりの行動が大切であり、行動変容をもたらすためにはインセンティブが大事

- ・ 知らない→知る→“行動する”が大事だと分かった。一人ひとりが行動しないとダメ
- ・ 個人行動は経済的なバランスで決定されるのでインセンティブが大事

今後に向けての意見

●取組の広げ方や実現方法が気になる

- ・ 会議の内容をどう周知するか？
- ・ どうやって他の区民に広げるか？
- ・ 具体的にどう実現していくかが気になる
- ・ 出して終わりではもったいない
- ・ 参加できない人も見られるといい

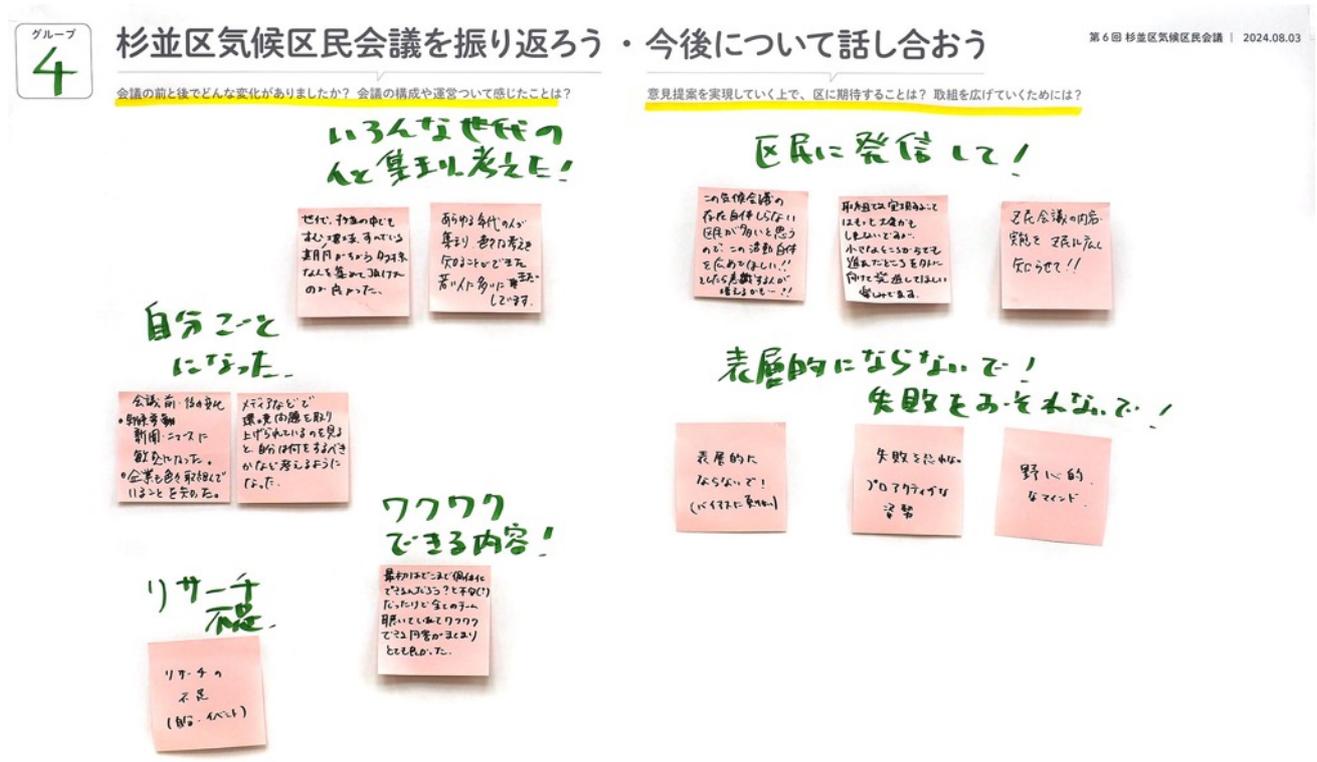
●周知し続けて、長期的に取り組んでほしい

- ・ 杉並区としては、区民への周知、続けること、危機感を持ってもらうこと
- ・ 長期的な取組になるので現区長に再選してもらいたい
- ・ こういう場にもっと多くの人に参加できるといいのだが…
- ・ やっていること自体知られていない←来てよかった

●取組の実現に関わりたい

- ・ ボランティアでやれる機会があれば参加したい

4 グループ



会議の振り返り・感想

●さまざまな世代の人と集まり、考えることができた

- ・ 世代、杉並の中でも住む環境、住んでいる期間が違う多様な人を集めていただけたのがよかった
- ・ あらゆる年代の人が集まり、いろいろな考えを知ることができた。若い人に大いに期待しています

●自分ごとになった

- ・ 気候変動についての新聞、ニュースに敏感になった
- ・ 企業も色々取り組んでいることを知った
- ・ メディアなどで環境問題が取り上げられているのを見ると、自分は何をするべきかなど考えるようになった

●意見提案はワクワクできる内容！

- ・ 最初はどこまで具体化できるんだろう？と不安(?) だったが全てのチームの取組を聞いていてワクワクできる内容がまとまり、とてもよかった

●リサーチが不足していた

- ・ リサーチの不足（自分・イベント）

今後に向けての意見

●区民に発信して、もっと広めてほしい

- ・ この気候会議の存在自体知らない区民が多いと思うので、この活動自体を広めてほしい！そうしたら意識する人が増えるかも
- ・ 取組を実現することはもっと大変かもしれないですが、小さなところからでも進んだところを外に向けて発信してほしい、楽しみです
- ・ 区民会議の内容、実態を区民に広く知らせて！

●表層的にならず、失敗を恐れなくてほしい

- ・ 表層的にならないで！（バイアスに負けない）
- ・ 失敗を恐れずプロアクティブな姿勢
- ・ 野心的なマインド

5 グループ

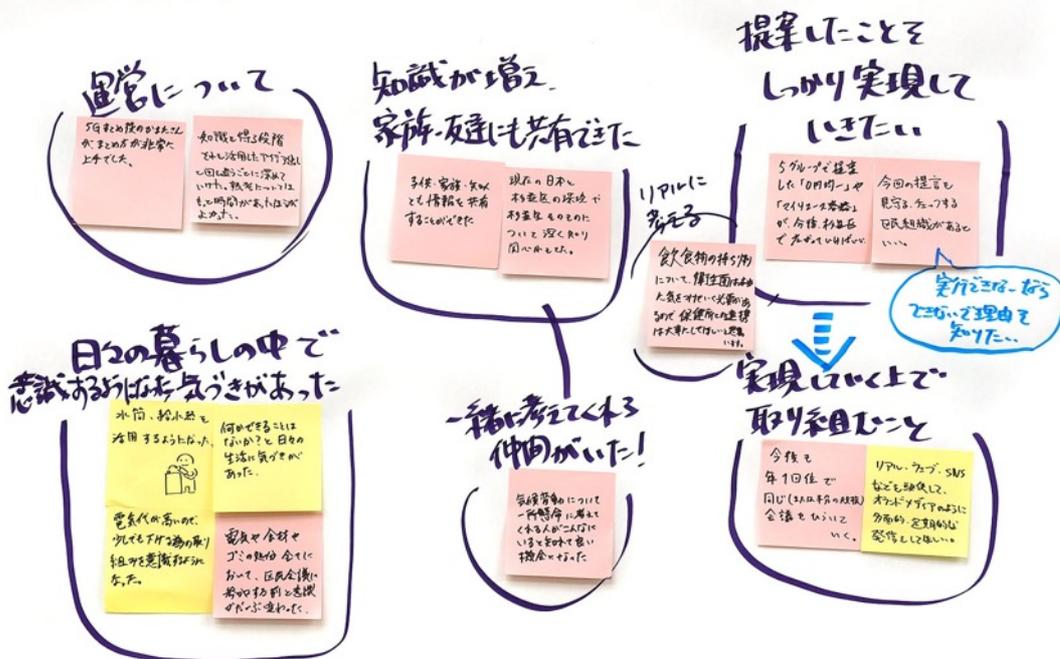


杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？



会議の振り返り・感想

●会議の構成：検討を深めていけたことはよかったが、熟考の時間がもっとあるとよかった

- ・ 知識を得る段階から、それを活用したアイデア出しへと、回を追うごとに深めていけた。熟考についてはもっと時間があつたほうがよかった

●知識が増え、家族・友達にも共有できた

- ・ 子ども・家族・知人とも情報を共有することができた
- ・ 現在の日本と杉並区との環境や杉並区そのものについて深く知り、関心が持てた

●一緒に考えてくれる仲間がいた！

- ・ 気候変動について一生懸命に考えてくれる人がこんなにいると知れて良い機会になった

●日々の暮らしの中で意識するようになった、気づきがあった

- ・ 水筒、給水機を活用するようになった
- ・ 何かできることはないか？と日々の生活に気づきがあった
- ・ 電気代が高いので、少しでも下げるための取組を意識するようになった
- ・ 電気や食材、ごみの処分など全てにおいて、区民会議に参加する前と意識がだいぶ変わった

●進行について

- ・ 5グループのファシリテーターさんの、まとめ方が非常に上手でした

今後に向けての意見

●提案したことをしっかり実現していきたい

- ・ 5グループで提案した「0円均一」や「マイリユース容器」が、今後杉並区で広がっていけばいい

●実現状況の定期的な情報発信や進捗を見守るために区民組織があると良い

- ・ 今回の提言を見守る、チェックする区民組織があるといい
- ・ 実現できないならできないで理由を知りたい
- ・ 今後も年1回くらいで同じ（または半分の規模）で会議を開いていく
- ・ リアル・ウェブ・SNSなどを駆使して、オウンドメディアのように多面的・定期的な発信をしてほしい

●実現する際に気をつけてほしいこと

- ・ 飲食物の持ち帰りについて、衛生面は本当に気をつけていく必要があるので、保健所との連携は大事にしてほしいと思います

今後に向けての意見

●提案の進捗が見える化し、達成したら次の区民会議の代にバトンタッチして、新たな目標を立てて進化させたい

- ・ 今回の区民会議の提案の進捗が見えるとよい（3/20 は楽しみ）
- ・ 取組を達成したら次の目標を決めてどんどん進化させてほしい
- ・ 区民会議二期生へバトンを！
- ・ OB との交流も！参加する人がどんどん増える

●個人では取り組めない領域から優先的に実現してほしい

- ・ 個人では取り組めない領域に、区には取り組んでほしい（公共交通など）
- ・ 個人ではできないことから優先的に！ロープウェイぜひ！

●取組同士のつながりや連携を意識して進めてほしい

- ・ 取組同士の連携もしてほしい（切り離せない、連動させて組み合わせる）

●一つの区でできることは限られているため、23区・東京都と連携して進められると良い

- ・ 東京都内の他の自治体と一緒にやれるといいな（効果を広げていくため）
- ・ 23区全体でしかできないこともある

●提案を実現するために、庁内のスキルやノウハウを把握し、一緒に取り組めるパートナーを募集できると良い

- ・ 区のスペック・スキルをまず把握する
- ・ まちに・区にどんなスキルをもった個人、事業者、行政がいるか→どう実現するか？
- ・ 一緒に実現してくれるパートナーを募集します！

7 グループ

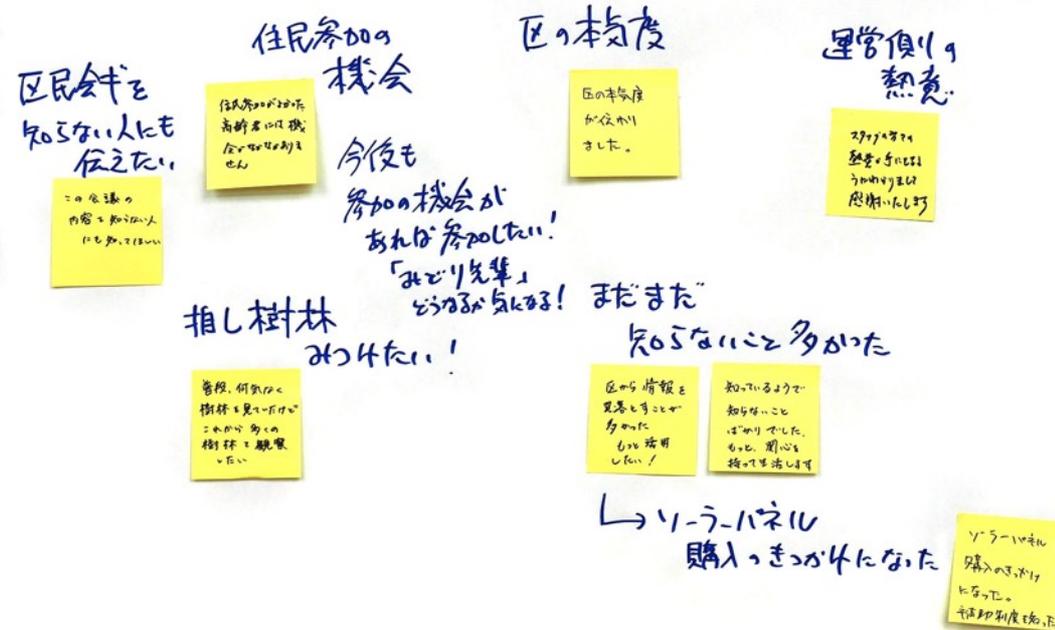
グループ
7

杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？



会議の振り返り・感想

●運営側の熱意・区の本気度が伝わった

- ・ スタッフの方々の熱意が手に取るようにわかりまして感謝いたします
- ・ 区の本気度が伝わりました

●まだまだ知らないことが多かった

- ・ 区からの情報を見落とすことが多かった。もっと活用したい！
- ・ 知っているようで知らないことばかりでした。もっと関心を持って生活します

●ソーラーパネル購入のきっかけになった

- ・ ソーラーパネル購入のきっかけになった。補助制度を知った

●住民参加の機会になってよかった

- ・ 住民参加がよかった
- ・ 高齢者には機会がなかなかありません
- ・ 今後も参加の機会があれば参加したい！「みどり先輩」どうなるか気になる！

今後に向けての意見

●推し樹林を見つけたい

- ・ ふだん何気なく樹林を見ていたが、これから多くの樹林を観察したい

●区民会議を知らない人にも伝えたい

- ・ この会議の内容を知らない人にも知ってほしい

8 グループ

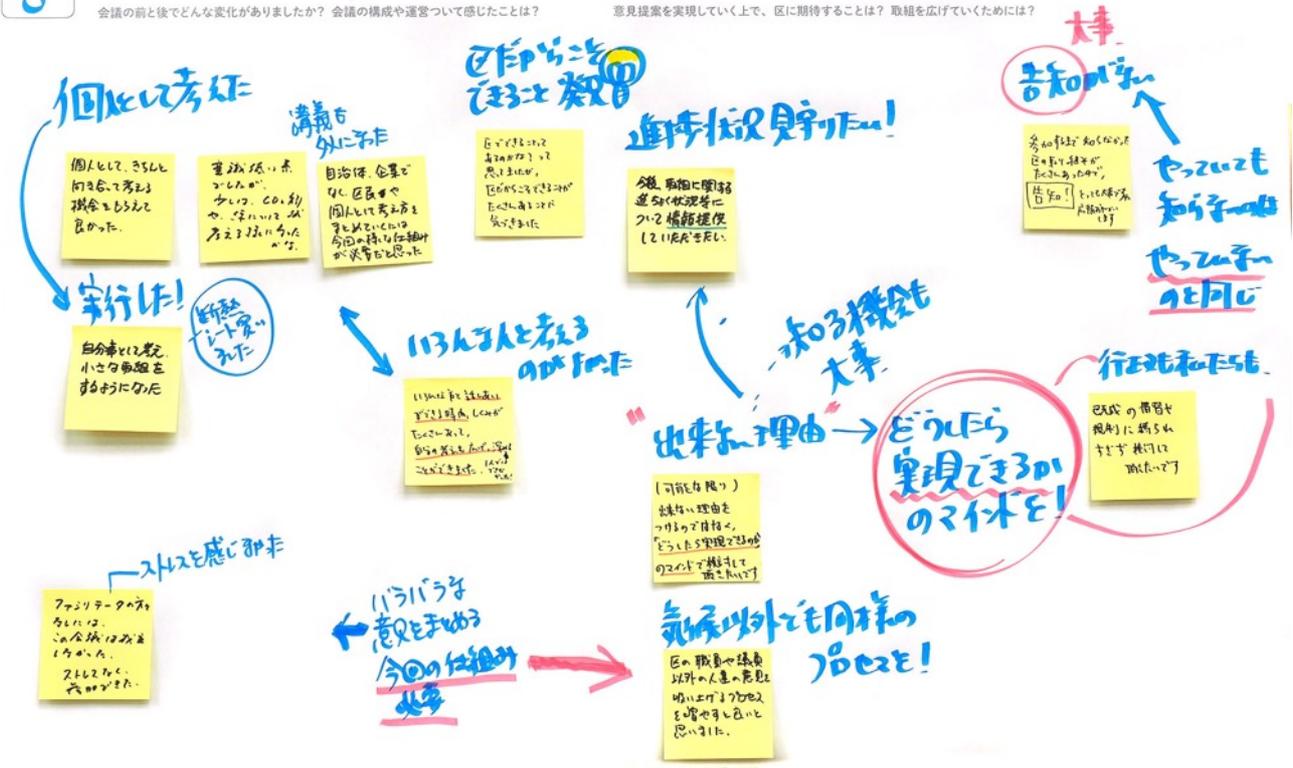
グループ
8

杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？



会議の振り返り・感想

●個人として考える機会になった

- 個人として、きちんと向き合って考える機会をもらえてよかった
- 意識低い系でしたが、少しはCO₂削減やみどりについて考えるようになったかな
- 自治体、企業でなく、区民や個人として考え方をまとめていくには今回のような仕組みが必要だと思った
- 講義もタメになった

●個人として考え、実行した！

- 自分ごととして考え、小さな取組をするようになった
- 断熱シート買いました

●いろいろな人と考えることがよかった

- いろいろな方と話し合いができる時間、仕組みがたくさんあって、自分の考えも広げ、深めることができました。一人ではできなかつた！

●ストレスを感じなかった

- ・ ファシリテーターの方々なしには、この会議は成立しなかった。ストレスなく参加できた

●区だからこそできることを発見できた

- ・ 区でできることってあるのかな？と思っていましたが、区だからこそできることがたくさんあることに気づきました

今後に向けての意見

●進捗状況を見守りたい！

- ・ 今後、取組に関する進捗状況等について情報提供していただきたい

●できない理由ではなく、どのように実現できるかを検討してほしい

- ・ （可能な限り）できない理由をつけるのではなく、「どうしたら実現できるのか」のマインドで検討していただきたいです
- ・ 知る機会も大事
- ・ どうしたら実現できるのかのマインドを！

●気候以外でも同様のプロセスを

- ・ 区の職員や議員以外の人たちの意見を吸い上げるプロセスを増やすと良いと思いました
- ・ バラバラな意見をまとめることが今回の仕組みでは必要

●区を取組をもっと広く知ってほしい

- ・ 参加するまで知らなかった区を取組がたくさんあったので、告知がとっても大事ですね、広報をお願いします
- ・ やっていても「知らない」のは「やっていない」のと同じ

●行政も私たちも、既成の習慣や枠組みに縛られすぎず柔軟に取り組んでいきたい

- ・ 既成の慣習や規制に縛られすぎず検討していただきたいです

9 グループ

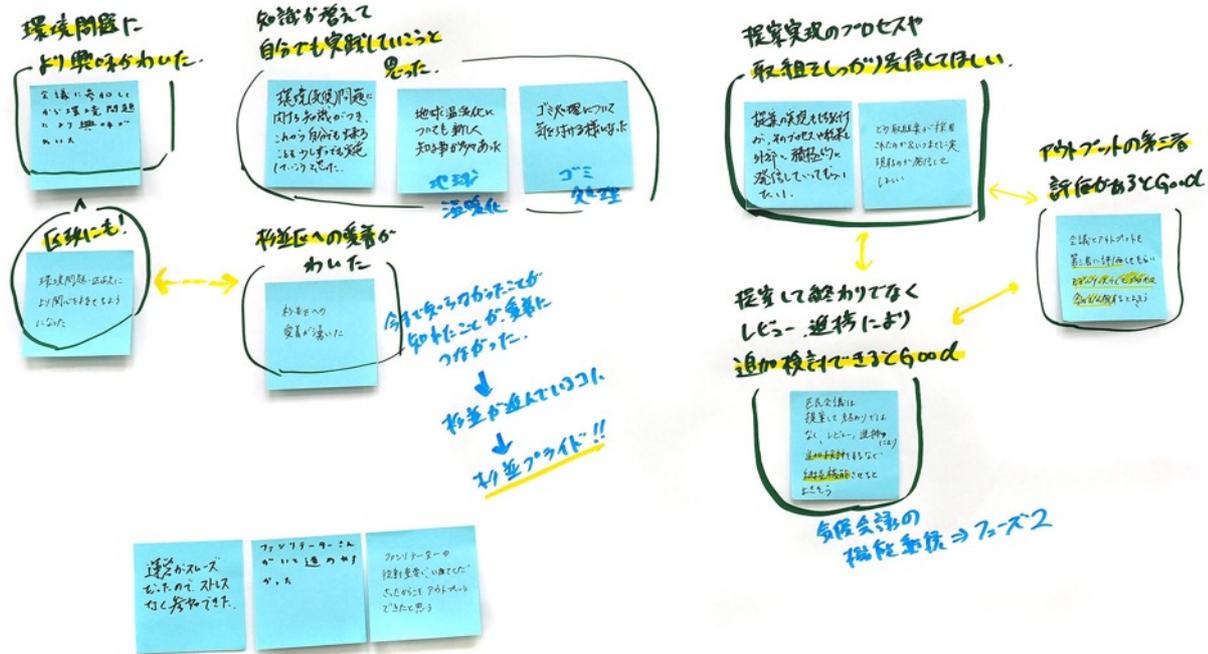
グループ
9

杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？



会議の振り返り・感想

●環境問題や区政により興味が湧いた

- ・ 会議に参加してから環境問題により興味がわいた
- ・ 環境問題・区政により関心を持てるようになった

●杉並区への愛着が湧いた

- ・ 杉並区への愛着がわいた
- ・ 今まで知らなかったことが愛着につながった→杉並が進んでいること→杉並プライド！

●知識が増えて自分でも実践していこうと思った

- ・ 環境問題に関する知識が付き、これから自分でもできることを少しずつでも実施していこうと思った
- ・ 地球温暖化についても新しく知ることが多々あった
- ・ ごみ処理について気をつけるようになった

●ストレスなく参加できた

- ・ 運営がスムーズだったので、ストレスなく参加できた
- ・ ファシリテーターさんがいて進めやすかった
- ・ ファシリテーターの役割が重要で、いてくださったからこそアウトプットできたと思う

今後に向けての意見

●提案実現のプロセスや取組をしっかりと発信してほしい

- ・ 提案の実現ももちろんですが、そのプロセスや結果を外部に積極的に発信していただきたい
- ・ どの取組案が採用されたのか&いつまでに実現するのかを発信してほしい

●提案して終わりではなく、レビューや進捗に応じて追加検討できると良い

- ・ 区民会議は提案して終わりではなく、レビュー、進捗により追加検討をするなど機能を継続させるとよさそう
- ・ 気候会議の機能継続→フェーズ2

●アウトプットの第三者評価があると良い

- ・ 会議とアウトプットを第三者に評価してもらいモデルケースとしてプロセスを含めて公開するとよさそう

10 グループ

グループ
10

杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？

様々な年代の人と温暖化を

様々な年代の人、
様々な考えの人が
いたため
様々な意見を
聞くことができた。

杉並区のことや
温暖化のことを
考える良い
きっかけになり
ました。

考える
きっかけ

思いがけないように
インスピレーション

自分で取り組むことにつながった

会議を受けて
自分でできることが
たくさんあると感じた。

自分で取り組む
脱炭素化に向けての
勉強や省エネに向け
具体的に行動を起こす
ようになった。

どうして気候区民会議が
こんなふうになったのか、
自分以外の人や
区がこれまで提供していた
同じ情報がなかったから。

区が様々な取組が
あることを知った

区がこれまで
様々な取組を
手がけてきたのが
理解できたのは
よかった。

区が情報発信を
既にしていたことでも
知らなかったことが
多かったため、
自分でも情報を
取りに行こうと思った。

専門家の
知見が学べた

個人だけでは
気づけなかった
専門家の知見
を学べる良い
機会だった。

国レベルではなく
市民が変えていくべき

温暖化対策は
国レベルではなく
市民が変えて
いくことが大事

今後再開の場を
深めて実践してほしい

区民の参加が
この取り組みの
成功の鍵だと
感じました。

区民の参加が
この取り組みの
成功の鍵だと
感じました。

都と共有しては
どうか

この気候区民会議で
お話を聞くと
共有したい。

消灯デーは
参加できそう。

会議の振り返り・感想

●様々な年代の人と温暖化を考えるきっかけになった

- ・ 様々な年代の人、様々な考えの人がいたため様々な意見を聞くことができた
- ・ 杉並区のことや温暖化のことを考える良いきっかけになりました！

●自分で取り組むことにつながった

- ・ 会議を受けて自分にできることがたくさんあると感じた
- ・ 自宅でも取り組める脱炭素化に向けての勉強や省エネに向けて具体的に行動を起こすようになった

●区が様々な取組があることを知った

- ・ 区がこれまで様々な取組を手がけてきたのが理解できたのはよかった
- ・ 区が情報発信を既にしていたことでも知らなかったことが多かったため、自分でも情報を取りに行こうと思った

●専門家の知見が学べた

- ・ 個人だけでは気づけなかった専門家の知見を学べる良い機会だった

●思いつきにならないようにインプットが大切

- ・ どうしても思いつきベースの話になってしまうので、インプットの中にもっと区のこれまでの検討などの周辺情報があるとよかった

●国レベルではなく、市民から変えていくべき

- ・ 温暖化問題は国レベルだけでなく市民からも変えていくことが大事

今後に向けての意見

●意見提案を東京都と共有してはどうか

- ・ この気候区民会議で出た意見を都と共有したらどうか

●今後も開かれた場で深めて実践してほしい

- ・ 区民の参加がこれとどまるのではなく、ここで検討されたことも含めてもっと深めて実践していくところまで、参加できるようにしてほしいと思った
- ・ 限られた区民会議ではなく、もっと開かれた場で、これまでとは異なる未来を考える取組に成長していけばいいなと思いました

●提案された取組に参加したい

- ・ 消灯デーは参加できそう

今後に向けての意見

●進捗状況を発信してほしい

- ・ 区の進捗状況を可視化、発信してほしい
- ・ 提案内容や進捗状況を区報に載せてほしい
- ・ 参加者へのフィードバック。メール、LINE 等で区から発信してほしい

●優先順位を含めて透明性の高いプロセスを

- ・ 多くの提案があり、全ては実現できないはず。優先順位がどのようにつけられるのか
- ・ 透明性の高いプロセスを望む
- ・ 全部で 30 くらいの提案のうち、どのくらい実現できるのかとってもワクワクしています！

●実現するプロセスに区民をどのように巻き込むかが大切

- ・ どの取組を実践するにしても区民の協力なしでは実現できない→どれくらい徹底して周知させるのか
- ・ 実行フェーズに区民はどう関わるのか？（区民会議という性質上、区民が主体的に取り組むことが必要なはず）

●会議で終わりではなく、行動を継続していきたい

- ・ 自分としてもこれで終わりではなく、関心や行動を継続する
- ・ 自分としても自転車利用を議論できてよかった

●取組の実現に期待

- ・ 自転車専用レーンが整備されることに期待します！
- ・ 自転車・徒歩利用者のアプリを Google と連携して実現してほしい

12 グループ

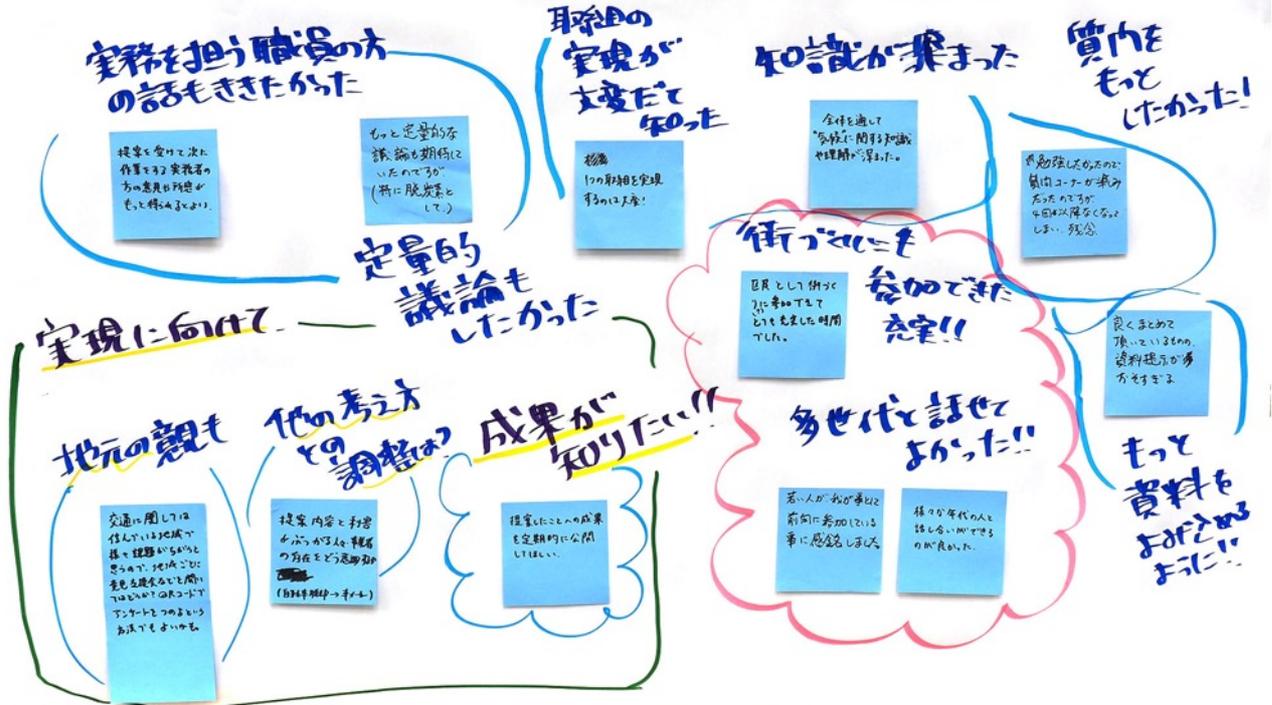
グループ
12

杉並区気候区民会議を振り返ろう・今後について話し合おう

第6回 杉並区気候区民会議 | 2024.08.03

会議の前と後でどんな変化がありましたか？ 会議の構成や運営について感じたことは？

意見提案を実現していく上で、区に期待することは？ 取組を広げていくためには？



会議の振り返り・感想

●知識が深まった

- ・ 全体を通して“気候”に関する知識や理解が深まった

●まちづくりにも参加できて充実した時間だった

- ・ 区民としてまちづくりに参加できてとても充実した時間でした

●多世代と話せてよかった

- ・ 若い人が、我が事として前向きに参加していることに感銘しました
- ・ 様々な年代の人と話し合いができるのがよかった

●取組の実現が大変だと知った

- ・ 1つの取組を実現するのは大変！

●実務を担う職員の方の話も聞きたかった

- ・ 提案を受けて次に作業をする実務者の方の意見や所感をもっと得られるとよい

●定量的な議論もしたかった

- ・ もっと定量的な議論も期待していたのですが（特に脱炭素として）

●質問をもっとしたかった

- ・ 勉強したかったので、質問コーナーが楽しみだったのですが、4回以降なくなってしまい残念

●もっと資料を事前に読み込めるように

- ・ よくまとめていただいているものの、資料提示が遅すぎる

今後に向けての意見

●地元の意見も

- ・ 交通に関しては住んでいる地域で様々課題が違うと思うので、地域ごとに意見交換会などを開いてはどうか？QRコードでアンケートを募るという方法でもよいかも

●他の考え方との調整は？

- ・ 提案内容と利害がぶつかる人々、事業者の存在をどう意識するか（自動車脱却→車メーカー）

●成果が知りたい！

- ・ 提案したことへの成果を定期的に公開してほしい